

令和5年 第13回帯広市教育委員会会議録

1. 令和5年8月7日 月曜日 13時30分 ～ 16時45分
令和5年8月8日 火曜日 9時30分 ～ 11時30分

帯広市教育委員会会議を市役所10階第5B会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	柳 川 久
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	藤 澤 郁 美

3. 本日の議事日程

- | | |
|-------|---|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 議案第25号 中学校用教科用図書の採択について |
| 日程第 3 | 議案第27号 高等学校用教科用図書の採択について【非公開】 |
| 日程第 4 | 議案第26号 小学校用教科用図書の採択について【非公開】 |
| 日程第 5 | 報告第21号 教科用図書の採択に係る情報の公表について【非公開】
その他 |

広瀬教育長

ただ今から、令和5年第13回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

田中委員より欠席の届け出を受けているため、出席委員は4名であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(加藤企画総務課長 報告)

広瀬教育長

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は佐々木委員及び柳川委員を指名いたします。

日程第2、議案第25号、中学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第25号、中学校用教科用図書の採択について、ご説明いたします。本案は、帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和6年度に市内中学校及び義務教育学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。中学校用教科用図書につきましては、令和2年度に採択しており、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定により、令和5年度と同一の教科用図書を採択するものでございます。以上、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第25号、中学校用教科用図書については、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第25号は決定されました。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第3から日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第5号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、議案第27号、高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第27号、高等学校用教科用図書の採択について、ご説明いたします。議案書5ページをご覧ください。本件は、帯広市立学校管理規則第41条第2項の規定により、令和6年度に帯広南商業高等学

校で使用する教科用図書につきまして、学校長が文部科学省の「高等学校用教科書目録」の中から選定し、教育委員会にお諮りするものであります。令和6年度は、議案に記載のとおり、計40の教科用図書を選定しております。このうち、今年度からの変更点につきましては、新高等学校学習指導要領が、年次進行で実施され、令和6年度からは、3年生で実施されることに伴い、3年生の教育課程を新たに編成したことから「文学国語」「地理総合」「世界史探究」「日本史探究」「化学基礎」外国語の「論理・表現Ⅰ」、商業では「観光ビジネス」「ビジネス・マネジメント」「ビジネス法規」「財務会計Ⅱ」など、計17科目を新たに選定しております。また、新規選定に伴いまして「現代文A」「日本史A」「世界史A」「英語表現Ⅰ」「ビジネス経済応用」「経済活動と法」などの13科目につきましては、使用教科書を終了としております。1・2年生の使用する教科書については、変更はございません。選定のプロセスにつきましては、担当教諭による教科会議をはじめ、教科主任によるカリキュラム委員会等を経て、校長が選定を行ったものであります。なお、7ページ以降には、使用教科用図書の主な採択理由について記載しておりますのでご覧ください。説明は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第27号、高等学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第27号は、決定されました。

日程第4、議案第26号、小学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第26号、小学校用教科用図書の採択について、ご説明いたします。本案は、帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和6年度に市内小学校で使用する教科用図書を採択するものであります。昨年度の検定を経た教科用図書につきまして、去る6月6日に帯広市教科用図書選定委員会に諮問し、7月24日に答申があったところでございます。本日、委員の皆様には、この答申を踏まえ、種目ごとに1種の教科用図書を採択いただくものであります。なお、特別支援学級の教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、小学校用教科書目録に登録されている以外の教科用図書を使用することができるものと規定されています。これまで本市では、知的障害学級における教育課程に対応するため、特別支援学校用教科書目録に唯一登録されている文部科学省著作の教科用図書を使用

してきたことから、令和6年度においても、これまでと同様に文部科学省著作の教科用図書を採択するものであります。以上、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

広瀬教育長

これから、令和6年度に使用する小学校用教科用図書の採択にかかる審議を行います。

まず国語の審議を行います。国語につきましては、3種から採択を行います。

それでは各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思ひます。藤澤委員からお願いいたします。

藤澤 委員

私から述べさせていただきます。結論から言ひますと、光村図書を選ばせていただきました。内容についてですが、2年生から6年生まで「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がされていると思ひました。俳句、短歌、古典の世界などの伝統的な言語文化に関する教材が全学年に計27教材と多く取り上げられていて、児童に伝統的な言語文化を継承し、興味を覚えてもらえる点がとても良いと感じました。北海道に関する記述が、ジャガイモの生産量が多い、さっぽろの水道パンフレット、アイヌ語の地名が伝えることなど2年生、4～6年生で合計11教材に取り上げられていて、児童の興味関心が高まるのではないかと思ひました。教科書の中で二次元コードが示された箇所には発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビューなど、児童の興味、関心を高めたり、学習を深めたりすることができる資料が豊富に収められていたのが良かったです。語彙や思考を広げて行くための工夫として、巻末付録に思考や表現の助けとなる語彙を「伝え合うための言葉」「言葉の宝箱」として提示するとともに、国語学習でよく使われる言葉を「学習に用いる言葉」として整理されているのも大変良いと思ひました。4学年（上）で友達に読んで欲しい本を伝えるなどの読書活動としての本のポップや帯を作る活動などが取り上げられていて、自分だけの読書ではなく、伝える読書活動として取り上げられていることが興味深いと思ひました。光村図書は教育出版と東京書籍に比べますと学習を進めていくには少し難しい印象がありますが、各教材ごとに関連した本が紹介されていて、読書への思いが強く感じられ、継続性の点からも光村図書を推薦したいと思ひます。

広瀬教育長

ありがとうございます。柳川委員、お願いいたします。

柳川 委員

私も結論としては光村図書を推薦します。まずは、選考の基準を数量データで挙げてみることにしました。知識および技能、それから内容の構成・配分について、最初の2項目についてはほとんど数量的な差は見られません。最後の伝統的な言語文化に関する教材で

言えば、東京書籍、光村図書、教育出版の順。それから、北海道に関する記述で言えば、教育出版、光村図書、東京書籍の順で、特に東京書籍がやや少ない。という感じでした。これを見てみますと、光村図書の教科書は、両方とも2番目で中間点にありまして、そういう目で全体を見ると、バランスが非常に良いという感覚を持ちました。そのバランスというのは、例えばその文字数の多さ、それから余白、ビジュアル面でのバランスも全てです。光村の教科書は他科目も含めて全てで感じたことですが、オリジナリティがそれぞれありながら、全体的なバランスが出来上がっているという印象を持ちました。これを含めた上で継続性、中学校の教科書との連携も含めまして、全体的な結論として光村図書を推させていただきますと思います。以上です。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私は東京書籍と光村図書で迷いました。結論から申し上げますと、光村図書を推しますが、東京書籍についても少し触れます。東京書籍も光村図書と同じように「伝える力」というのを重視していて、情報や自分の考えを相手に伝える技術や、その上での留意点を詳しく記載しているところが目を引きました。あともう1つ、物語に親しむという視点では、がまくんとかえるくんや、世界一美しい村などのシリーズ、続編がある物語、そういったシリーズものの続編を巻末にもう1話掲載するなど、本編で読んだ物語の更なる広がりにより楽しめるように工夫されているなどと思い、東京書籍もとてもいいと思いました。

次に、光村図書を推す理由を申し上げます。まず、内容面についてですが、低学年では、まず音読に適した素材、つまり声に出して読む楽しさを味わえる素材、というのが多く扱われておりまして、言葉のリズムですとか楽しい音の繰り返しに触れることで、言葉自体の持つ魅力に気づけるよう工夫されているなどと思いました。また、心を強く動かすような物語や、わくわくするようなファンタジーなども多く掲載されていて、筆者の紹介や本の紹介とあわせて、さらに読書に興味を持てるように工夫されているところが素晴らしいと思いました。また4年生の「もしものときに備えよう」では防災学習とつなげられていて、それも大変評価できると思います。それから、3年生から6年生までは、全てに戦争を題材とした作品が取り上げられておりまして、平和教育にも非常に力を入れていると思いました。各社ともそのような平和教育に関わる題材を取り上げており、光村図書は取り上げる学年が少し早いのですが、3年生からそういったシビアな内容に触れられるようになっている点が私にとっても評価できると思います。

次に構成の話ですけれども、1年生から、体験したこと、感じた

ことを言語化して、他者に伝える能力を養うことに重点が置かれていると思いました。さらに、会話をスムーズに続け、自身が話すだけでなく、他者から話を引き出す能力を伸ばすことにも力を入れていると思います。これらは発達段階に応じてより高度な訓練になっていると思います。全学年を通して実践を重ねることで、話し合いの技術を高めて、対話的で深い学びの実現を図っています。読み手、伝える相手の視点に立って、文章を構成する力が自然に身につくような工夫も随所に見受けられていて、それもとてつと評価できます。全学年を通して、季節の移り変わりや自然の美しさに触れながら、言葉の力を養うことが目指されているところも大変良いと思います。最後に、使用上の配慮の点なのですが、「大切」というコーナーのまとめで学習の振り返りがしやすいよう工夫されています。また、巻末の構成のところなのですが、多岐にわたる分野の専門家による校閲が行われております。この中にはマイノリティの人権問題の専門家の教授も参加していて、これらに特段の配慮がされているということが伺えます。このような多岐にわたる分野の専門家別というのは、光村図書が目立っておりました。以上のような点から光村図書を推します。

広瀬教育長

ありがとうございます。私からも発言させていただきます。どの教科書も学習指導要領に沿って検定済みであって、内容、項目、外観、表紙を含めて、本の作り、あるいは学びの視点の示し方などそれぞれ特徴がありますが、総じて遜色はあまりないというのが正直な印象です。評価のベースとして、主に6年生の教科書を読み込み、判断いたしました。評価の全体的なポイントとして、1つ目は児童の目線ということでの読みやすさ、本のサイズ、重さ、持ち運びの負担感、文字の大きさ、見やすさの観点から、2つ目としては、目次の作り方、教材のつながり方、先生から見た視点、内容項目の分量、3つ目としては分冊やメモ欄などを含めた各社の特徴、工夫、最後に前回選定した教科書との継続性も、すべての教科で考慮しています。国語の教科書についてですが、私も光村図書を推したいと思います。まず、東京書籍ですが、5・6年生が合本になっていて、教材の最初に学習の流れが記載されていることにより学習の見通しが示されています。また、見やすさにも工夫がされており、二次元コードにより発展的な学習につなげている印象を受けました。教育出版ですが全学年分冊で、教材の配列、目次の書き方など、流れやつながりを感じました。北海道関連の教材が一番多くて、親しみやすかったと思います。光村図書ですが5・6年生が合本で、見通しを持つことによって学習の流れが明確にされており、児童、先生にとってこの題材がなにを学習するのか、学びを確かめることが明確になっていると思います。問いを持とう、により自ら問いを持

ち、学べる工夫、UDにも工夫がされていると感じました。二次元コードにより発展的な学習にもつなげております。結論ですが、内容のバランス、見やすさ、先生方が教えたいと思える論点から総合的に判断しますと、光村図書を推奨したいと思えます。

皆様のご意見を総合いたしますと、国語の採択すべき教科書は光村図書出版株式会社というご意見で全員一致しております。

光村図書出版株式会社を採択することにご異議ございませんか。

異議なし。

ご異議ないようですので、採択理由を確認するため、休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

国語の採択につきましては『「国語の学びを見わたそう」で、学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり、「問いを持とう」で自ら問いを持ち学べるようにする工夫など、児童が主体的に学習に取り組み、学習に興味を持てるように配慮されていること。1年生の段階から、体験したことや感じたことを言語化して他者に伝える能力を養ったり、言葉の魅力を伝える工夫をするなど、系統的・発展的に学習が進められる内容の構成・排列となるよう、学年に応じた学習活動が適切に位置づけられていること。多くの学年で北海道との関連を取り上げている題材があることや、季節の移り変わりや自然の美しさに触れたり、俳句、短歌、古典の世界などの伝統的な言語文化に関する教材を多く取り上げたりしていること。語彙や思考を広げる手立てとして、巻末付録に「伝え合うための言葉」「言葉の宝箱」を提示するとともに、国語の学習でよく使われる言葉を「学習に用いる言葉」として整理されていること。本のポップや帯を作る活動等、伝える読書活動も意識した活動を取り入れ、児童が読書に対する思いを高め、思考力や想像力を養うことができるような工夫がされていること。相手意識や目的意識が明確になるような活動がバランスよく位置づけられていたり、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載するなど、児童が意欲的に学ぶことができるように二次元コードを配置し、発展的な学びにつなげる工夫がされていること。3年生以上で戦争を題材とした作品が取り上げられており、平和教育に力を入れていることとともに、中学校との連続・継続した学びを意識していること。』などの理由により、発行者、光村図書出版株式会社を採択することによろしいでしょうか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

各 委 員
広瀬教育長

広瀬教育長

各 委 員
広瀬教育長

次に書写の審議を行います。書写につきましては、3種から採択を行います。それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は結論から言いますと光村図書を選ばせていただきました。内容について述べさせていただきます。「書写スタートブック」では、巻頭の「書写の約束」を含め、書写学習の基本となる内容をまとめて掲載しています。また「文字探検隊」や「色々な線を書こう」など、楽しく親しみやすい教材を適宜設け、書写学習に主体的に向かう姿勢が形成されるよう工夫されていると思いました。猫のキャラクターや擬態語、擬声語を活用し、直感的に筆遣いを理解できるようにしており、児童が楽しく学習できそうな点が良かったと思います。北海道と関わりのある内容を取り上げた資料が1年生から6年生で計4点掲載されておりまして、5年生ではアイヌ民族のくらしを題材にした新聞作りが掲載され、児童たちが興味を覚え、学習意欲につながると思いました。全国筆・紙・すみ・すずりマップなどで、これらを作る工程を動画で見ることができ、児童たちが伝統文化の理解を深められるようになってきていると思いました。水書用紙を1、2年生で用意されていて、「とめ・はね・はらい」を何度でも体感・練習できるのが良いと思いました。1年生では「書写体操」が整理体操を含め掲載されていて、良い姿勢を維持するための体操として、楽な姿勢で疲れにくく、集中して書くことができるのが良いと思いました。SDGsと書写がつながることとして、用具を大切に使いつづける、プラスチックフリーをめざして、筆を洗う時にアルミ缶を使った例などが紹介されている点が大変良かったと思います。先ほどの国語で光村図書を推薦しましたが、教材の関連性や継続性からも光村図書を推薦します。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

私も教材の関連性、継続性を考えると、光村図書を推薦させていただきたいと思います。もちろんそれだけではなく、内容的にも1年生からずっと猫のキャラクターを使った統一性と親しみやすさ、それから一番感心したのが筆の持ち方、姿勢などに関する写真もあり、児童の参考になるのではないかと思います。全体的なバランスに関しても国語で感じたように光村図書が非常にバランスが良いと感じましたので光村図書を推させていただきます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も光村図書を推します。まずは国語教材との連携が図られており、国語と同じ出版社の教科書を使うことが望ましいというのが一番です。文字を書くことそのものを楽しめるような、猫のキャラクターなど、そういった工夫が随所になされているところ。書道では、筆の向き、穂先の置き方、筆圧の強弱が図でわかりやすく示されているところも良いと思います。SDGsや防災と関連した学習も用

意されていて、例えば防災マップの制作などに関連して書写を学べるというのも良い企画だと思いました。アイヌ文化を扱った手作り新聞が掲載されているのも良かったです。また、情報を効果的に伝える文字のデザイン・書き方の工夫について取り上げられており、文字の果たす役割についても深く学べるようになってるのが良いと思いました。さらに「私の文字」「私の文字を振り返る」というコーナーでは、単に美しい文字を書くことのみにも価値をおかず、個人の特徴を表す唯一無二の手書き文字の価値を認める内容になっており、大変興味深い、良い企画であると思います。以上です。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も光村図書を推します。まず、各社の印象ですが、東京書籍につきましては「書写のカギ」で学習ポイントが展開されています。他教科や学校生活に生かす「生活に広げよう」などが印象に残っています。教育出版ですけれども、全体的に少し内容が詰め込まれすぎている感じがしました。しかし、巻末の紙やすずり、すみの作り方は興味を引きつける印象があります。それから、鉛筆の持ち方、姿勢の合言葉、「こしびん、あしぺた、ぐうひとつ」というのが1年生にありましたが、なかなか良いアプローチだと思いました。光村図書ですけれども、全学年に猫のキャラクターが登場し、子どもたちにとって、とても親しみやすい印象が受けられます。他教科や日常生活に関わる教材「書写を広げたい」こういったもので伸ばしていくような感じがしました。それから興味関心を持たせるための工夫として、文字の歴史や著名人の文字なども掲載していました。国語との関連性、継続性も考え光村図書を推したいと思います。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと書写の採択すべき教科書は光村図書出版株式会社というご意見で全員一致しております。

光村図書出版株式会社を採択することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため休憩いたします。

(休憩)

広瀬教育長

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

書写の採択につきましては『各教材が課題解決型学習を想定した楽しく親しみやすい教材で構成されており、児童が考えを広げたり深めたりする活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を養えるように配慮していることや、SDGsや防災と関連した学習も用意されていること。「私の文字」「私の文字を振り返る」において、個人の特徴を表す手書き文字の価値を認める内容になっていることや、情報を効果的に伝える文字のデザイン・書き方の工夫について取り

上げられており、文字の果たす役割についても深く学べるようになってきていること。「全国筆・紙・すずりマップ」など、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮され、書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」や、日常の言葉や物語、短歌、俳句を書いて味わう「ことば」が全学年に位置づけられていることや、水書用紙が用意されており、繰り返し体感ができること。手紙や横書きの書き方等、日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり、国語や他教科における関連を図った教材を掲載したりするなど、科目を超えた知識を得ることができるようになっていること。北海道と関連のある内容を取り上げた資料が使われており、5年生では、アイヌのくらしを題材にした新聞作りが掲載されていること。「書写スタートブック」では、巻頭の「書写の約束」を含め、書写学習の基本となる内容をまとめて掲載している。また、正しい姿勢・筆記具の持ち方を実現する体づくりのための書写体操や、姿勢や持ち方の「唱え歌」など、児童が楽しみながら身に付くようになっていること。』などの理由により、発行者、光村図書出版株式会社を採択することによろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に社会の審議を行います。社会につきましては、3種から採択を行います。それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

東京書籍を選ばせていただきました。理由といたしましては、見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みが提示され、「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と「方法・考え方」を合わせて4種類の囲みを使い分け、どのような視点や方法を働かせれば良いかが明確に分かり、学習を進めることが出来るようになってるのが良いと思いました。単元のめあてや学習問題を構造的に明示するとともに、学習段階、つかむ、調べる、まとめる、いかす、を示したり、「まなびのポイント」や「学び方コーナー」を設けたりするなど、児童が主体的に学べるように工夫されてきました。寒い土地のくらしにかかわる学習において、雨温図による気温と降水量の比較、北海道の家や雪対策と雪を生かした観光、北海道の自然を生かした農業として十勝の畑作農家に取り上げられていて、地元のことを掲載されていることで児童が興味を覚え、学習意欲につながるのではないかと思います。北方領土につきましては、都道府県の学習における地図への表記、本文の中で竹島や尖閣諸島が「まわりの国と日本」と題して地図、写真を用いて丁寧に取り扱われているのが良かったと思います。アイヌ民族については、5年生で暮らしや文化について、6年生では交易などの歴史的内容について取り上げられているのが良いと思いました。SDGsについては、

5年生（下）の巻末に「SDGsについて考えよう」6年生において「世界の未来と日本の役割」として、世界の課題と関連付けて学習できるようになっていて児童がSDGsを日本、世界から考えて学習できる工夫がされていると思いました。6年生で「私たちの暮らしと日本国憲法」で日本国憲法がどのように暮らしと関わっているのかを具体的に説明しているのも良かったと思います。以上のことにより東京書籍を推薦したいと思います。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

私も東京書籍を推薦したいと思います。理由ですが、それぞれの教科書に記述されている、例えば歴史的な内容、北方領土、あるいはSDGs、アイヌについて、きちんと取り上げられています。教科書として、課題解決型の学習を促して、また、それを広げていくような工夫というのが、どの教科書が一番連携が取れているかを考えますと、東京書籍が一番の印象を受けました。例えばSDGsについても、それぞれ世界の課題と関連付けて学習できるものになっている、工夫がされている、こういった部分で教科書の有り様として、より良いのではないかという印象を持ちました。また、自然災害と防災についても3社とも比較的多くのページをさいて記述をされております。それについても、東京書籍の内容は多方面での記述がありまして、それらを系統的、発展的に学習できるようにという工夫がなされています。北海道の自然を生かした農業としての十勝の紹介もありましたし、親しみやすい部分もございまして、トータルとして私は東京書籍の教科書を推薦させていただきます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私もとても迷いました。まず、それぞれの出版社で良い点、気になる点があったので紹介します。日本文教出版は特に6年生が扱う憲法や人権問題に関する記述が非常に優れています。憲法に記載されている人権については、どの会社も記載しているのですが、その中で、両性の平等や人身の自由などについて明記しているのは、恐らく日本文教出版だけではないかと思います。また、日本初の女性医師である荻野吟子を取り上げて、SDGsの一環としてジェンダー問題にも触れられていて、とても力を入れているという印象です。また、これはどの教科書でも取り上げていますが、自由民権運動において、女性や女性の権利が注目されていなかったということをはっきりと明記しているところが目立っていました。差別問題についても各社いろいろ取り上げていますが、わずかながら性的少数者への差別問題について言及しているのはこの会社だけかと思いました。東京書籍についても、人権についての学習では、女性差別や部落問題などにも触れていて、深く考えさせる内容になっています。東京書籍で目を引く最大の特色だと思うのは「社会科の見方、考え

方」という冒頭の項目で、空間の広がり、時間の移り変わり、相互関係、比較・分類という多様な角度から物事を考察することが目指されていて、歴史や地理を全く別物として扱わず、ある社会的な物事について、時間の移り変わりや、地理的な広がり・つながりなどを多角的に見られるように工夫されていて、社会科を学ぶ上で大切なことが徹底されていると思いました。また自ら問題設定をして、予想・見通しを立て、調査をし、まとめて活用する、という学習の流れが常にわかりやすく示されているのもとてもいいと思います。どの会社もそうなのですが、児童の対話形式による記述が多く、対話的な学びを促すよう工夫されています。4年生で扱う防災学習はかなり具体的で実践的な内容になっており、「マイ・タイムライン」という1人1人の防災計画を立てる活動が予定されていて、非常に良い内容だと思いました。また5年生では、調べ学習でインターネットの検索サイトを使う際に、情報を取捨選択して正確なものを得るために心がけることや方法が示されていて、今の時代にあたりテラシーを養いながら正確な調査をするということが大切になっているので、これもとても良いと思いました。アイヌ民族についても比較的多くの紙面を割いて扱っており、その暮らしや文化、歴史を多角的に詳しく紹介している点も良いと思いました。結論が後になってしまいましたが、今、申し上げたとおりの理由で東京書籍を推薦したいと考えました。

広瀬教育長

ありがとうございます。私からですが、どの教科書もキャラクターを配しておりました。東京書籍は5・6年生を分冊としたことで3社の中で最も軽く、そういった点で配慮を感じました。それから「身近な市役所、市議会」「十勝の農業」も引用、記載されておりました。教育出版ですが巻頭に学習の進め方ということで良かったと思います。白黒写真のカラー化、こういった事は初めて見て、印象に残りましたが、重さが気になりました。日本文教出版につきましても巻頭に「学習の進め方」を新設されていました。「見方、考え方」コーナーを設け、自分で課題解決できるような工夫がなされていて、SDGsについては巻末にシールを新設していたことが印象に残っております。結論ですが、一番軽くて、子どもにとって一番負担が少なく、また地元の素材も提示された東京書籍を推薦したいと思います。私からは以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと社会の採択すべき教科書は東京書籍株式会社というご意見で全員一致しております。

東京書籍株式会社を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため休憩いたします。

各 委 員
広瀬教育長

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

社会の採択につきましては『児童が見方・考え方を働かせて学習を進められるよう、「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点や方法を囲みとして設けられていること。児童が主体的に学べるよう、「まなびのポイント」や「学び方コーナー」を設けたり、単元のめあてや学習問題を明示したりするとともに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が示されていること。北海道・十勝については、寒い土地のくらしにかかわる学習において、北海道の家や雪対策と雪を生かした観光、北海道の自然を生かした農業として十勝の農家について取り上げられているとともに、アイヌの人たちの文化に多くの紙面をさいており、北方領土等についても扱われていること。世界の中の日本として、SDGs等、世界の課題を関連づけた記載をするなど、グローバル化する世界と日本の役割の学習において、日本と外国の人々の文化や活動の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が示されていること。自然災害や防災については、多方面からの系統的・発展的な学びができるように工夫されていること。5・6年生向けを分冊とし、児童の持ち運びや学びやすさへの配慮がなされていること。』などの理由により、発行者、東京書籍株式会社を採択することによってよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました

次に地図の審議を行います。地図につきましては、2種から採択を行います。それでは、藤澤委員から、お願いします。

藤澤 委員

私は帝国書院を選ばせていただきました。地図帳は3年生から6年生まで使用するわけですが、巻頭の「地図で世界発見!」「地図で日本発見!」により興味・関心を高め、「地図学習」において3年生の学びとして地図の基本、約束を掲載しています。「広く見わたす地図」「日本の地図」「世界の地図」と活用度の高い使用学年に配慮し、防災マップづくり等も含めた資料地図・統計」を掲載し、系統的・発展的に6年生まで学習を進めていく配慮がなされていて、良いと思いました。「トライ!」「地図マスターへの道」、巻末に「地図マスターへの道にちょうせんしよう」が設けられていて、地図活用のスキル、社会科の知識を身に付け、社会的な見方・考え方を働かせる学びにつながっていると思いました。1人1台端末を活用した学習活動として、多くの二次元コードを掲載し、アニメーションによる解説やクイズ、動画、音声コンテンツ等の多様なコンテンツが利用できるのが大変良いと思いました。日本固有の領土としての北方領土が記載され、アイヌ語地名等、アイヌの人たちについて取り上

げるとともに、北海道南部の詳細な地図も掲載されておりまして、児童たちが興味を示し、学習意欲につながると思いました。SDGsについては、特設ページを設けたり、コラム「世界のSDGs」を配置したりするなど、題材として活用できるようになっているのが良いと思いました。地図専用の特殊な用紙が使用されており、クサ色などの特殊インキも加えた5色の多色刷りで印刷され、大変見やすくなっていると思われまます。表紙も4年間の使用に耐えられるような耐性の強い用紙を使用しておりまして、表面の汚れや摩擦を防ぐためにポリプロピレンシートが貼られていました。そのような耐久性の面からも4年間の使用に耐えられると考え、帝国書院を推薦いたします。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

私は見やすさと新しい工夫の東京書籍か、情報量の多さと、どちらかというスタンダードな作りである帝国書院、どちらかで選択しました。結論としては帝国書院の地図帳を選択させていただきました。理由として、まずページ数が大きく違います。帝国書院が130ページ、東京書籍が102ページです。日本の全体の地図ですとか地方地図のページ数もかなり違います。私としては地図帳というのは長く使用するものなので、この情報量を選択したいと思えます。このことは記述にも表れておりまして、北方領土、アイヌ語地名、SDGsの記述もそれぞれ帝国書院の方が多くなっています。東京書籍の交通網に着目した新しい工夫にも感心しましたがけれども、それと比べても、情報量の多さという点で帝国書院の方を選ばせていただくということで結論付けたいと思えます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も帝国書院を推します。まず、内容面の理由ですが地図が必要とされる理由や意義、特徴、作られ方が丁寧で分かりやすく説明されておりまして、地図の読み取り方や使い方、書き方も丁寧に説明されており、児童が無理なく地図学習を始められるように工夫されているところが良いと思いました。「江戸時代との結びつき」で街道とともに歴史を学び、また、「江戸後期の江戸」では江戸時代の生活を地図とともに学べる内容になっていて、非常に面白いと思いました。SDGsに関する事項も多く取り上げており、マララ・ユスフザイ氏、難民キャンプ、コスタリカや環境問題など多岐に渡って扱っていて、読み物として児童にとっても、とても面白いのではないかと思います。さらに、世界の子どものたちの各地域での生活も紹介しており、世界と自身とのつながりが感じられるような作りになっているのもとても良いと思いました。地図のデザインですが地図帳前半は3、4年生にも読み取りやすいように配慮された比較的シンプルですっきりした地図が使われています。また、全体として高低

差などの地形が非常に分かりやすく、山脈や盆地というのが非常にリアルに見て取れるデザインになっているのが児童にも分かりやすく、地図としてとても優れていると思いました。以上のことから私も帝国書院を推します。

広瀬教育長

ありがとうございます。私ですが、2社とも統計資料などが分かりやすく、イラストなどで表示に工夫がされておりました。鮮やかさでは東京書籍だと思いました。日本の歴史と世界の関わり、都道府県ごとの主な農水産物が表になっており、分かりやすかったのが印象に残りました。帝国書院ですが、地図帳の導入部、見やすさ、使いやすさ、「地図マスターへの道」による、興味を抱かせる工夫、また、帝国書院では日本の統計での値が最新値になっており、人口などについては2021年、東京書籍は2020年になっておりました。主な農水産物の都道府県別の生産割合は帝国書院のみ記載されており、自然災害と防災、こういったところにも力を入れておりました。結論ですけれども、見やすさ、使いやすさから、帝国書院を推薦したいと思います。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと地図の採択すべき教科書は株式会社帝国書院というご意見で全員一致しております。

株式会社帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

各委員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

地図の採択につきましては『見やすく、情報量が豊富であり、地図が必要とされる理由、意義、特徴が丁寧に説明されているとともに、地図の基本や約束が掲載されているなど、児童が地図学習を進めやすい配慮がされていること。方位や地図記号、土地利用等を用いて宝探しに取り組んだり、都市間の縮尺を用いて実際の距離を調べたりするなどの具体的な活動を通して、地図に親しみながら学ぶことができること。資料・統計において、多様な主題図を掲載し、比較・関連させて考察したり、歴史的な経過や地形を別の地図と関連させて読み取ったりするなど、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、適切に表現することができる工夫がされている。また、二次元コードを用いた多様なコンテンツが利用できること。北海道については、北方領土やアイヌ語地名、アイヌの人たちについて取り上げられるとともに、北海道南部の詳細な地図も掲載されていること。学校の周りの防災マップの具体的な作り方を載せ、自らの身を守るために何ができるかを考えられるよう工夫されてい

ること。コラム「世界のSDGs」など、SDGsに関する特設ページを設け、環境問題などを扱っていることや、世界の子どもの生活も紹介しており、世界と自身とのつながりが感じられるような作りになっていること。』などの理由により、発行者、株式会社帝国書院を採択することでよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

ここで休憩といたします。再開は15時18分といたします。

(休憩)

再開いたします。

次に算数の審議を行います。算数につきましては、6種から採択を行います。

藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は東京書籍を選ばせていただきました。1年生の教科書は第1分冊、第2分冊からなり、第1分冊はノートの機能も備えた仕様になっていて、学習の準備にかかる時間を軽減し、算数の学習自体に向き合う時間を長くするように工夫されていると思います。就学前の生活経験を算数につなげる写真を掲載し、児童が親しみや安心感、自信を持って算数の学習をスタートさせることが出来る工夫がされていました。「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、全学年に次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり、コラム「ますりん通信」で算数の学習に関連する多方面のからの話題や見方・考え方等を取りあげたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされていました。コラム「私と算数」では、卓球選手の伊藤美誠さん、野球選手の谷口翔平さんが掲載されていて、児童が憧れるお二方の算数との関わりや、有用さを感じることができ、キャリア教育の教材として活用されていて良いと思いました。習熟に時間を要する内容やスパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うようにしており、特に計算単元問題等は、練習の機会を増やすよう、学期末や学年末の配置を避けるなどの配慮がされているのが児童にとって学習しやすく、工夫されているのではないかと思います。二次元コードの数が多く、充実しており、授業中の自己解決や集団解決、習熟のための演習、家庭学習など個別最適化された学びの実現にも有用であると思いました。プログラミングのできる二次元コードが用意されておりまして、コンピューターを活用したプログラミングに取り組むような工夫もされておりました。じっくり考え、学びを楽しみ、しっかりと身につけるという基本方針に沿った教科書として東京書籍を推薦します。

広瀬教育長

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

柳川 委員

算数は対象の教科書が多かったのですが、算数の記述というのは客観的な記述が多く、6社の内容自体に大きな差は感じられませんでした。小学校の算数はいかに算数嫌いになる子を減らすかが大切だと思います。あとは中学校への連携、小学校から中学校へ行く時、このあたりで算数が苦手になっていく子が増える気がしています。そこを上手く工夫がされている教科書はどれだろうという観点で見させていただきました。1つはやはり、今、中学校で使われている教科書との連携が大切だということ、もう1つは算数が嫌いにならない様に、例えば、それぞれの学年、あるいは1つの単元が終わった時にそれをつないでいける、復習になるような項目があることです。それが東京書籍の「つないでいこう算数の目」あるいは「算数マイノートを学習にいかそう」などのコラムで、いろいろと工夫されているような印象を持ちました。とはいえ、高学年になると結構難しい事もやっていて、二次元コードを使ってコンピューターを活用したプログラミングですとか、あるいは他教科との数学的なつながりというのも求められていました。算数から数学へつなぐ上での必要事項であるかなという風に感じました。結果的に、東京書籍の教科書が最も多方面からの話題や見方、考え方を全学年で取り入れて学習意欲を高める、また算数嫌いにならないようにするための工夫がされているように感じました。以上の理由で東京書籍を推薦させていただきます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も東京書籍を推します。最終的に学校図書と東京書籍に絞って迷いました。学校図書は「考え方モンスター」という楽しみながら、算数的な考え方や組み合わせが身に付く工夫がされていて、デザインもかわいらしくて子どもに親しみやすいようなキャラクターになっていて、良いなと思いながら読みました。東京書籍は全体的に問題解決を養う能力の養成に重点を置いているのが良いと思ひまして、最終的には東京書籍を選びました。以下、理由を申し上げます。内容面についてなのですが、2年生では、分数の学習への入り方が丁寧で分かりやすく、つまずきやすい分野への配慮がなされていると思ひました。3年生以降は、表紙に様々な分野で活躍する人の作品が掲載されていました。また、裏表紙にはその作者の言葉が掲載されていて、その人の仕事にどのように算数が生かされているかが語られていました。子どもたちにも将来への見通しを持ちながら学習できるよう、配慮されているのではないかと思います。6年生では、問題解決の方法・手順を改めてふり返り、それを5段階に分け、それをサイクル、名称までは明記されていませんが、いわゆるP P D A Cサイクルのことですが、サイクルとして表し、その手順を何度もくり返すことでさらに数学的な探究を深めていくことができる

様になっています。これがとても優れていると思いました。「ふりかえろう「データ活用」の目」では、3年生以降発達段階に応じて発展させてきたデータの分析・活用方法を6年生でまとめてふり返っており、それぞれの学習内容がどのように広がり深まっていったかがわかるようになっています。これがとても良いと思いました。全体として、対話による問題解決を重視しており、自分の考えを他者が理解できるように説明する能力を養うことが目指されています。異なる視点や説明の仕方を示して、それらの違いや共通点などを考えさせる場面も多く、このような点が徹底されていると思いました。「+（プラス）」では、習熟度に応じて、より発展的な問題演習ができるようになっているのも良いと思います。「学習のしあげ」「できるようになったこと」「つぎに考えてみたいこと」の項目をもうけ、主体的に学習を振り返るとともに、学習したことをより発展させて次の学習へ自然につながるように工夫されている点も優れていると思いました。以上の点から東京書籍を推します。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も東京書籍を推したいと思います。東京書籍は6年生を除き、2分冊で1年生の最初の教科書がA3で見やすくなっており、記載もできるようになっていること、全学年ともにマイノートの写真があって、学習の振り返りなどに使える工夫がされております。算数卒業旅行も印象的でした。大日本図書につきましては1年生の（上）がA版でノートの書き方の例をはじめ、導入問題把握、自分の力で解決する教科書作りが徹底されていると感じました。そして、ページ数が前回よりも増えております。1年生以外は分冊されておらず、中学への導入ページもありました。学校図書についてはAB版でノート明示になるのがわかりやすく、印象に残りました。6年生の分冊の中学校への架け橋や全学年のつながりが分かるように工夫がされておりました。少し重量が気になりました。一番重かったと思います。教育出版は唯一、分冊がありませんでした。冒頭の導入部分に力点が少し薄いように感じたところです。こちらにも重量が気になりました。啓林館につきましては「算数のとびら」「算数ノートを作ろう」があり、全般的に見やすかったです。「未来への扉」では中学校への意識付けに好感が持てました。日本文教出版につきましては巻末に「もうすぐ中学生」があり、中学につなげている工夫がありましたけれども、こちらにも少し重いのではないかと感じております。柳川委員もおっしゃっていましたが、小学校ではまず、算数を好きになって欲しいこと、苦手意識を持たないこと、進んでいる子どもに対しても適切な内容であること、そういったことを勘案すれば何よりも振り返りの充実、習熟度別学習が必要である観点から、東京書籍を推したいと思います。私からは以上です。

皆さんのご意見を総合いたしますと算数の採択すべき教科書は東京書籍株式会社というご意見で全員一致しております。

東京書籍株式会社を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

算数の採択につきましては『単元末に「たしかめよう」を設け、学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解・技能の定着を図るとともに、習熟に時間を要する内容、つまづきやすい分野など、スパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うよう排列が工夫されていること。「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたことを想起する子どもの姿を例示したり、コラム「ますりん通信」で算数の学習に関連する多方面からの話題や見方・考え方等を取り上げたりするなど、算数を嫌いにならないように児童の学習意欲を高める工夫がされていること。学習したことをもとにして、問題解決や次時の学習を創造することを促したり、自分の考えを他者が理解できるように説明する能力を養ったりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習となるよう工夫されていること。1年生の教科書は、ノート機能も備えた仕様で、算数の学習に向かう時間を確保することができるよう工夫されており、他教科や幼児期の教育と関連づけた問題場面が提示されていたりするなど、児童が親しみや安心感をもって学習できる工夫がされていること。二次元コードが多く掲載されており、自力解決や習熟のための演習、家庭学習やプログラミング学習など、1人1台端末を活用した学習活動の充実が図られていること。』などの理由により、発行者、東京書籍株式会社を採択することによろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に理科の審議を行います。

理科につきましては、5種から採択を行います。それでは藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は啓林館を選ばせていただきました。理由といたしましては、全学年を通して理科の楽しみ方として、見つける、調べる、まとめる、の3段階の学びのサイクルを繰り返すことで、学習が深まる全体構成が良いと思えました。単元末の「まとめノート」では単元の学習の要点を一覧でふり返ることができ、「新しく学習した言葉」で

用語の定着が図られていると思いました。単元末の「たしかめよう」では、基礎的・基本的な問題を掲載し、知識及び技能の習得につながっていると思いました。同じく単元末の「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力が高まるようになっております。巻末の「W a C B T」(ワクビット)では、理科の学習に関連した映像から情報を読み取り、問題に答えるC B Tコンテンツを体験でき、読解力や情報活用能力の向上が図られ、児童の達成感や自己肯定感が高まることが期待できると思います。全学年にプログラミング的思考を段階的に育成するため、「やってみようプログラミング」を設けておまして、5年生の自動散水機の水やりの条件を制御して植物の成長をシュミレーションする二次元コンテンツをゲームで実際に体験しましたが、面白かったです。自然災害から身を守る防災力を高めるため、全学年に「ウィズアース～〇〇の防災～」を設けているのが防災教育として良かったと思いました。SDG sに関連する題材には、関連する目標のマークが示され、さらに特設サイト「わくわくSDG s」で、より詳しい情報が知ることが出来るようになり、良かったと思います。ICTの活用として二次元コードの数が多く、内容が充実されていると思いました。最後に、正しく安全に実験できるよう「みんなで使う理科室」で理科室での約束や実験中、実験前後での注意事項の要点を掲載しているのが良いと思いました。全体を通しまして理科の教科書としては啓林館が良いのではないかと思います、推薦いたします。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

私も啓林館の教科書を推薦させていただきたいと思います。理科という教科は新しい知見がどんどん加わる教科です。そこも含めて、例えば生物学的知見、それから防災等に関する知見などもチェックさせていただきました。特に防災に関する記述、これは今回、他の教科の教科書にも多く載っておりまして、力を入れた記述がありました。理科の教科書としての防災の記述、ウィズアースで持続可能な社会と関連づけて、述べているという点で理科的に非常に秀逸な取り組みであるというふうに感じました。それからSDG sやS o c i e t y 5. 0に関する記述でも、理科の教科書としての有りよう、また SDG sマークや二次元コードを示すなどの工夫が見られました。それから他の教科書とは少し違う四角いサイズだったと思いますけれども、これは写真や図のサイズに関わらず大きく使えます。そういった点でも他の教科書と比べて遜色なくできている印象を持ちました。総じて啓林館の教科書を推薦させていただきたいと思います。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も啓林館を推します。東京書籍なども、児童の好奇心を刺激す

る楽しい内容で、とてもいいなと思いました。啓林館について、まず内容面から理由をお話します。3年生の冒頭では、問題をつかむ問題設定、予想、計画、観察・実験、結果、考察、そしてまとめ、そこから更なる疑問からまた問題をつかむというサイクルを示していて、これらを繰り返すことで探求を深めていくことが、理科学習の柱であることが示されています。とてもいいなと思ったのは、問題解決の手順というのほどの教科書にも示されているんですけども、これをサイクルとして示しているのは、啓林館のみだったと思います。そして、ICT活用の方法が見開き2ページにわたって詳細に掲載されていて、記録のまとめ方も丁寧に説明されているのも良いと思います。4年生では「1年間の観察の仕方」で、計画の立て方や留意点などが示されていて、巻末ではなく、中盤で理科室の使い方や片付け方まで詳しく説明されているのが、とても実践的で良いと思います。5年生以降は「くらしとリンク」のコーナーがより大きく取り扱われていて、マタニティマークなどが紹介されています。STEAMについても、より多くの記載があって、今学んでいる内容と、どの分野が関連しているかが分かりやすく示されているのがとても良いと思いました。コロナ禍で活用されたECMOの紹介もあります。プログラミングや防災学習にも実践的に取り組めるようになっているのも良いと思います。次に構成についてですが、先ほどもお話したSTEAMとのつながりやSDGsとの関連が随所に掲載されていて、分野横断的な学習が重視されていることが伺えました。他教科との関連も示されています。特に関係の深い算数は、「理科につながる算数の窓」で重点的に扱われています。それから、6年生後半では中学校での学習を見据えて、光合成などの発展的な内容も多く取り扱っていて、プログラミングについてもかなり発展的な内容になっていると思いました。それから、使用上の配慮についてですが、対話的な学習を効果的に進めるために、伝え方だけでなく、聞き方や話し合い方もそれぞれ詳しく示されているのがとても良いと思いました。さらに、実験で気をつけなければならないことは、例えば換気や、やけどなどについてが、黄色の三角マークのアイコンでわかりやすく表示されているのも良いと思います。それから、「活用しよう」「くらしとリンク」の中では、身近な道具や食品などと理科との関連を知ることができて、自分とのつながりや実感を持って学習に取り組めるように工夫されていると思います。また、5年生では災害写真を扱う際に、児童への配慮を求める記載がありまして、それもとても良いと思います。以上の理由から、啓林館を推したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も啓林館を推薦したいと思います。どの教科書も写真が豊富で、さすが理科という感じがしました。まず

東京書籍ですけれども、A4判で大きくて見やすく、目次も裏表紙にあり、とても良かったのですけれども、少し重いかなどという感じはしました。大日本ですがAB版で大きくて見やすく、冒頭の「理科の学び方」は分かりやすかったです。「ノートの書き方」は大きく工夫がされておりました。ただ、重量感があります。学校図書もAB版で、どの学年も表紙にノーベル賞受賞者の言葉を記載し、子どもたちの理科への興味につなげる工夫がありました。「理科モンスター」は楽しそうでありました。裏表紙に目次、また「ノートの記録の仕方」もありましたが、これも少し重たかったです。教育図書はAB版より少し大きめで読みやすく、冒頭の「ノートの取り方」は学習のスタートになじむものでした。また6年生の実物大の人間の臓器の図は、教育図書の売りだと思いました。裏表紙に安全手引きの記載もごさいます。啓林館ですがAB版で「ノートのまとめ方」があり、両開きの使い方が上手で見やすく実用的だと感じました。また、全体として題材のつながり、流れがスムーズで見やすかったです。何よりも一番軽量であること、それから子どもたちに理科の楽しさ、楽しい学び方、そういったことを売りにして、子どもたちのわくわく感が増すのではないかというふうに考えております。以上のことから啓林館を推したいと思えます。

皆さんからのご意見を総合いたしますと、理科の採択すべき教科書は、株式会社新興出版社啓林館ということで、ご意見が一致しております。

株式会社新興出版社啓林館を採択することにご異議ありませんか。異議なし。

ご異議ないようなので、採択理由を確認するため休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

理科の採択につきましては『写真が多く見やすいレイアウトの工夫がされており、「問題をつかむ」、「問題設定」、「予想」、「計画」、「観察・実験」、「結果」、「考察」、「まとめ」、「新たな疑問から問題をつかむ」というサイクルが分かりやすく示されているなど、学びのサイクルを通して学習を深めることができる構成となっていること。単元末では、「たしかめよう」で基礎的・基本的な問題を掲載し、知識・技能の習得を図るとともに、「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力・表現力等を高める工夫がされていること。SDGsに関連する題材には、関連する目標のマークを示すとともに、特設サイト「わくわくSDGs」で詳細な情報を知ることができるよう工夫されていること。自然災害から身

各 委 員
広瀬教育長

を守る防災力を高めるため、全学年の「ウィズアース～〇〇の防災～」において、持続可能な社会と関連づけた記述があること。全学年に「やってみようプログラミング」を設け、中学校の学習を見据えて、プログラミング的思考を段階的に育成することができるよう工夫されていること。二次元コードが数多く掲載されており、「WaCBT」では学習に関連した映像から情報を読み取り、問題に答えるコンテンツを体験できるようになっているなど、1人1台端末の活用を促す工夫がされていること。実験で気を付けなければならないこと、換気、やけどなどが黄色の三角マークでわかりやすく表示されていること。』などの理由により、株式会社新興出版社啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認めそのように決定いたします。次に生活の審議を行います。生活につきましては7種から採択を行います。それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は啓林館を選ばせていただきました。理由ですが、単元は、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元を通して活動が発展し、主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されていると思われました。「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」などのコーナーで、基本的な生活習慣や生活技能・健康や安全に関する知識が身に付くように工夫されていると思われました。「びっくりずかん」や「デジタルたんけんブック」では、児童の知的好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料が掲載され、気付きの質が高められるような工夫がされていると思われました。次の活動に向けた「めくり言葉」の位置づけや、「できるかな?できたかな?」コーナーを掲載したりするなど、児童が学びの深まりを実感することで、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がされていると思われました。幼児期の学びや育ちを大切にしたいスタートカリキュラムが充実しており、上巻の巻頭の「スタートブック学校大好き1年生」の単元では、幼児期に生まれた資質・能力を発揮しながら楽しく安心して学校生活を始めることができるように工夫されていると思われました。紙面に二次元コードが各単元ごとに掲載され、学習の助けになる教材、動画・音声・図鑑・クイズ等のコンテンツが用意されていて、児童の学習意欲につながると思われました。下巻の巻末では2年間の生活を振り返る活動を通して、満足感や達成感を感じ、自信と意欲を持って3年生に進級できるように配慮されていると思われました。自然災害、交通安全、人的災害の3つの視点から、適切な行動や基本的な知識が身に付くように防災教育、安全教育に関する資料などが充実していると思われました。「冬の遊び」に北海道に関わりのある内容が5つ掲載されてい

て帯広市の「氷のお面」も掲載されていました。以上のことから啓林館を推薦したいと思います。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

生活の教科書は各社でかなり個性が出ていると感じました。その中で私も啓林館の教科書を推させていただきます。理由ですが、啓林館の教科書は、幼稚園から小学校への橋渡し、それから、小学校から中学校への橋渡しをちゃんと意識して作っておられるという感覚を持ちました。それから、構成自体も各学年で「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」などの取り組みやすい言葉の学習活動を取り上げるなどの工夫が見られました。またそれぞれの全学年での単元導入に、「わくわくタイム」であったり、児童が親しみやすいような学習活動を取り上げるなど、学習意欲を高められるような構成が各学年で含まれているということを感じました。サイズも理科と同じ四角いサイズですけれども、ビジュアル的にも問題なく、写真や図も見やすいサイズで構成されていたと思います。以上の理由で、啓林館の生活の教科書を推薦したいと思います。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も啓林館を推します。幼稚園、保育園との連携、そして3年生へのつながり、その流れが非常に分かりやすくなっておりまして、まず、おもちゃ作りの活動では、自分たちが作ったおもちゃで、幼稚園児や保育園児らと一緒に遊ぶ活動が提案されています。そのおもちゃ作りの活動で、掲示板などを使って他者のアドバイスやアイデアを取り入れる方法が示されているという点も、この企画では良いところだと思います。構成面ですけれども、後に学ぶ理科などにつながる問題解決の手順や記録、発表の方法を、1年生向けにわかりやすく説明しているところもとても良いと思います。さらに下巻では、様々な発表方法をイラストで紹介している点も良いと思います。そして「できるようになったこと」で、学習の振り返りを促しているのも、学習の定着に良いと思いました。さらに3年生へのステップブックで、3年生から始まる理科などの学習に見通しが持てるようになっていて、先ほど申し上げたように、学習の流れが非常に明確になっています。次に使用上の配慮についてなのですが、目次とは別に「びっくり図鑑ライブ」では、どのページで何が見られるか、一目でわかるように工夫されています。そして、(上)のスタートブックでは、学校生活への興味を掻き立てて、学習につながる工夫がなされているのも良いと思いました。その後で「何の種かな」というコーナーでは、ページをめくると答えが見え、さらにめくるとたびに時間経過とともに変化していく植物の写真が出てくる仕様になっています。また、様々な種類の花の変化を並べて掲載しており、それぞれ比較しやすくなっているのもいいと思います。また「種の

不思議」のコーナーでは、1つの種から驚くほど多くの種が収穫されることを写真でダイレクトに伝えていて、児童の好奇心を刺激し、楽しく学習ができる工夫がなされており、様々な虫や花、種などを実物大の写真で掲載している点も、より実感を持って学習ができるように工夫されていて良いと思いました。配慮の話ですが、アメリカザリガニなどは人気の生き物ですけれども、これが外来生物であるということの注意喚起がなされている点。そして、写真を撮影する際には、相手の許可を得るように、ということが明記されている点も非常に良いと思いました。最後に、「デジタル探検ブック」などのデジタルコンテンツが豊富に用意されている点も、とても使いやすく良いのではないかと思います。以上のような理由から、啓林館を推したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も啓林館を推したいと思います。各社の印象ですけれども、まず、東京書籍につきましては、スタートカリキュラムを意識した良い作りであると思いました。大日本図書につきましては、子どもたちが書き込む、気持ちマークの欄があって、子どもたちの学習への意欲がチェックできるような機能がありました。学校図書についてはA4変型判で単元の終わりに「もっと〇〇がしたい発見カードチャレンジカード」などが主体的に学びに取り組める工夫がありました。ただ、少し重さが気になりました。教育出版につきましては、黒いキャラクターが時折出現し、わくわく感があり、楽しい作りになっている印象でした。光村図書につきましては、生活事典で発展的な学びにつながる工夫がされており、表紙にも他社とは違いヨシタケシンスケ氏の絵を活用し、6社の中では一番重たかったです。啓林館につきましては唯一のA/B版で、冒頭の「学校大好き1年生」「3年生へのステップアップ」は素晴らしかったと思います。また氷のお面、それから豊頃冬のハルニレの木も掲載されていて、親しみやすい感じがいたしました。低学年の理科の架け橋である生活という科目は、理科と同じく、子どもたちにわくわく感、あるいは日常生活との関係、こういったものを考えればやはり啓林館というふうに考えます。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと、生活の採択すべき教科書は株式会社新興出版社啓林館ということで一致しております。株式会社新興出版社啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各委員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議がないようなので、採択理由を確認するため、休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

生活の採択につきましては『単元は、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、主体的・対話的で深い学びにつながる充実した活動と、確かな学びが実現できるようになっていること。「すたあとぶっく〜がっこうだいすきいちねんせい〜」では、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしたいスタートカリキュラムが充実していることや、「3年生へのステップブック」で、上位学年の学びへのつながりや見通しを持てるよう配慮していること。活動の中で生まれた児童の「気付き」や「思いや願い」が次の活動につながるよう「めくり言葉」を位置付けたり、「できるかな できたかな？」コーナーを掲載したりなど、児童が学びの深まりを実感したり、次の活動への意欲を高めたりして、児童の主体性を育てるよう工夫されていること。「びっくりずかん」「デジタルたんけんブック」などの豊富な資料により、児童の知的な好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料が掲載され、気付きの質が高められるような工夫がされていること。「冬の遊び」では、北海道に関わりのある内容が掲載され、帯広市の「氷のお面」が掲載されていること。様々な虫や花、種などを実物大の写真で掲載したり、「たねのふしぎ」では、ひとつの種から多くの種が収穫されることを伝える写真を掲載したりして、児童の心を揺さぶり、より豊かな学習活動を実現できるようになっていること。』などの理由により。発行者、株式会社新興出版社啓林館を採択することによってよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

ここでお諮りいたします。

次に音楽の審議を行います。音楽につきましては、2種からの採択を行います。

それでは、藤澤委員をお願いします。

藤澤 委員

私は教育出版を選ばせていただきました。理由としては、折込みを使ったワイドな誌面で楽譜は大きく見やすく、写真、イラストなどもワイドに効果的に配置されておりまして、打楽器の打ち方、音符や休符、記号など、リコーダーの指遣いも掲載されており、大変分かりやすく説明されていて児童の演奏技術の上達につながると思いました。巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示すなど、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。4年生で「伝えられてきた歌を楽しもう」で、北海道民謡としてソーラン節の歌い方が掲載されていて、児童たちが地元の民謡を歌う楽しさを経験できるのが良いと思いました。巻末掲載の短時間学習の教材として扱える「ショー

トタイムラーニング」では英語と関連させるもので、外国の歌や日本の歌を英訳したもので、歌うことによって英語の学習にもつながるのではないかと思いました。4～6年生の巻頭では、一線で活躍するバレエ、狂言、ピアニストの方々のメッセージが掲載されており、音楽の楽しさ、生きていく力を児童に伝えていると感じました。紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどの良質なデジタルコンテンツの活用により、児童の学習意欲が高められると思いました。歌唱、器楽、音楽作り、鑑賞などの学習活動がバランスよく配列されていまして、紙面も見やすく、イラスト、写真も綺麗で、デジタルコンテンツも充実している教育出版を推薦したいと思います。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

先ほどの生活と違って、この音楽の2つの教科書は、取り扱う内容、構成や配列、ページ数、使用上の配慮も含めて、非常に同じような内容を扱っておられるという感じがしました。結局、何を基準に選ぶかという視点に立った時に、視覚に訴えてくるのはどちらかという点で選びました。教育出版のものが非常にビジュアル的にいろいろ工夫がなされていて、それをまず第1に置いて選ばせていただきました。また、中身の表現についても、ビジュアルに見合う使いやすさが工夫されているかどうか、文章等も含めて見せていただきました。これは両者とも遜色がありませんでしたが、視覚に訴えるインパクトが大きかったという点で、教育出版を選ばせていただきます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も教育出版を推します。まず、内容面で目を引いた点ですけれども、1年生ではリズム、2年生では強弱、3年生では旋律に合わせて体を動かす学習方法が多く取り上げられていて、高学年でそれにつなげて音楽の素と呼ばれる各要素を実感できるように工夫されています。そして3年生では歌に合わせた手話も取り入れられているのもいいと思いました。全体として説明をあまり専門的に難しくせず、感覚に訴える表現でわかりやすくしている点も良いと思いました。例えば5年生では、民謡に代表される日本独特の節回しも感覚的にわかりやすく説明しています。そして内容面でいいなと思ったのが、6年生では日本各地のストリートピアノを紹介していて、心と心をつなぐ音楽の力を考えるコーナーがありましたけれども、これは非常に良い企画であると思いました。英語の歌も各学年で取り上げられていて、2年生では算数と関連する歌も掲載されているのが、面白いと思います。全体を通して音楽のイメージに合わせた美しい写真やイラストが、時に3ページの見開きにわたるほど、非常に大きく掲載されていて、音楽に対するイメージを広げたり深め

たりする工夫がされているところが、とても印象に残りました。全体としてのジャンルですけれども、クラシックや雅楽、ジャズ、ポップス、民謡やミュージカルなど、多様なジャンルの音楽を扱っているのもとても良いと思います。そして藤澤委員もおっしゃっていましたが、デジタル教材では、リコーダーの運指がとてもわかりやすく説明されていて、その活用が期待される場所です。以上の理由から教育出版を推したいと思います

広瀬教育長

ありがとうございます。私も教育出版を推したいと思います。教育芸術社は、音楽に関わる資質の向上を図る観点を強く感じました。一方、教育出版は、音楽の楽しさ、親しみやすさを得ることから始まって、段階的に表現や、音楽の素晴らしさにつなげる意図を感じた場所です。見やすさについては教育芸術社より見やすいと感じました。リコーダーの指遣いや写真が綺麗だと皆さん仰っていましたが、私もそのように感じます。そういった観点から、教育出版を推したいと思います。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと、音楽の採択すべき教科書は教育出版株式会社ということで一致しております。教育出版株式会社を採択することにご異議ありませんか。

各委員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議がないようなので、採択理由を確認するため休憩します。
(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

音楽の採択につきましては『音楽のイメージに合わせた美しい写真やイラストが大きく効果的に配置されており、発達段階に即した使いやすさと、音楽に対する楽しさや親しみやすさを感じさせ、イメージを広げたり深めたりする工夫がなされていること。巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示すなど、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされていること。1年生ではリズム、2年生では強弱、3年生では旋律に合わせて体を動かす学習方法が多く取り入れられ、高学年で「音楽のもと」と呼ばれる各要素を実感できるよう工夫されている。クラシック、雅楽、ジャズ、ポップス、民謡、ミュージカルなど、多様なジャンルの音楽を扱っており、感覚に訴える表現を多用して、「心と心をつなぐ音楽」の力を考える工夫がされており、児童の学習意欲が高められるようになっていること。他教科と関連させ、短時間学習の教材として扱える掲載があること。リコーダーの運指について、わかりやすく掲載されていること。紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどの良質なデジタル

コンテンツの活用により、児童の学習意欲が高められること。』などの理由により、発行者、教育出版株式会社を採択することによってよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。
ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。
ここでお諮りいたします。
本日の会議は、この程度とし、散会いたしたいと思います。
これに、ご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。
ご異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。
本日は、これをもちまして散会いたします。

8月8日(火) 9:30 ~

広瀬教育長

これから、昨日に引き続き令和5年第13回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

田中委員より欠席の届け出を受けているため、出席委員は、4名であります。

会議は成立しております。

まず図画工作の審議を行います。

図画工作につきましては、2種から採択を行います。

それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私から述べさせていただきます。結果としては日本文教出版を選びました。内容としましては、オリエンテーションにおいて、教科書の使い方や学習の進め方が示されていると思いました。児童が主体的に学習に取り組むことができるようになっていて、下巻には1年の振り返りページが設けられており、児童が主体的に学習に取り組むことができるようになっていて、と思いました。「美術館へ行こう」で、札幌芸術の森美術館のハロー！ミュージアム、もようを見つけて、ではアイヌ民族の模様の衣装が掲載されていまして、北海道の掲載に児童が興味を持って取り組むことができるのではないかと思います。図工たいそうが二次元コードで掲載されていて、おめめぱっちり体操、こころすっきり体操、書く、塗る、貼るなど、作品を制作する前の体操として面白いと思いました。A4判で図版が大きく見やすく、児童の絵画作品の表紙が掲載されていて、鑑賞としても作品になっていると感じました。教科書にも数多くの作品が掲載されていますが、二次元コードからの作品数も多く、充実していると思いました。発想や構想、鑑賞など様々な場面で児童がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介していて、

児童が創作活動に意欲を持てるような工夫がなされていると思いました。用具の基本的な扱い方を二次元コードから動画で確認できるようになっているのも良い点だと思います。表現と鑑賞を関連させて学びを深められるよう「表現のヒント」「鑑賞のヒント」が示されているので、児童の表現、鑑賞がより豊かになり、充実した学習ができるように工夫がなされていると思います。「SDGsと平和を願って」では、平和への願いがSDGsと道徳にもつながっていき、児童が平和について考えを深められることが大変良かったと思います。以上のことにより日本文教出版を推薦します。

広瀬教育長
柳川 委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

学習方法への工夫という視点で見させていただきました。結果としては、教科書の使い方に関する工夫や安全性への配慮の点で、日本文教出版の教科書が優れていると感じました。日本文教出版の教科書はビジュアル面で大変大きな図が多用されておりまして、大胆さが感じられる一方で、工作などの安全性には、細かい部分まで安全に配慮した心配りが感じられました。それから教科書の使い方、高学年での学びの振り返りなど、子どもたちが主体的に、芸術・図画工作に対する取り組みができるような工夫がなされているというふうに感じました。それから、先ほどもありましたように全国の造形活動、美術館などの作品や取り組み、伝統工芸に対するものもありました。また、代表的な美術作品をいくつか取り上げるなど、子どもたちが美術、芸術に興味を持つための配慮が感じられて、全体的にバランスも良いというふうに感じました。以上の理由から、日本文教出版の教科書を推薦させていただきます。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私は開隆堂出版を推したいと思います。まず、学習のめあて3つをそれぞれ「くふう」「ひらめき」「こころ」というキャラクターで表現し、それを随所に配置することで見通しをもって学習に取り組めるようになっていくところがいいと思います。中でも、試行錯誤を繰り返しながら考えたり思いついたりする力「ひらめき」を特に重視することが明記されていて、児童にも何に力を入れたらいいのかということが分かりやすく、とてもいいと思いました。全体を通して、児童の多様な作品を多数掲載していました。また、様々な考えやアイデアのヒントが吹き出しで書かれており、「ひらめき」の力を伸ばす工夫がなされていました。高学年になると、プロの芸術家による作品の掲載も増え、鑑賞とともに制作のヒントが得られるような構成になっています。プログラミングを使った作品制作も扱っていて、より発展的な学習ができるようになっています。さらに、より良い暮らしや社会のために活かされている芸術活動やデザインを紹介しており、社会とのつながりを持ちながら活動できるように

工夫がされています。構成の点ですが、各活動のページに、他教科とのつながりが示されていて、大変児童に分かりやすく良いと思いました。そして活動ごとに、望ましい片付け方が記載されているのもとても良いと思います。楽しく制作する児童の躍動的な写真を大きく掲載し、児童の学習意欲をかき立てる工夫がなされていると思いました。対話によって学習を進める場面も多く掲載していて、主体的で対話的な学習を進めることができるのではないかと思います。道具の使い方などがタブレット端末で見られるよう、各ページに二次元コードが掲載されている点もよいと思います。以上の理由で私は開隆堂出版がいいと思いますけれども、日本文教出版も自然の色というところで、土、砂や葉にもいろいろな色がある、という土のライブラリーなどの芸術作品が圧巻で、インパクトが強く、児童に良いのではないかと感じました。音の絵、という試みもとても良かったです。伝え合う活動を重視して、感じたこと、表現したい気持ち、そういうものが大事にされていて、日本文教出版もとてもいいのではないかと思います。以上です。

広瀬教育長

ありがとうございます。私は日本文教出版を推したいと思います。正直な感想ですが、どちらもカラフルで、内容的にも遜色はないと思います。開隆堂出版につきましては1冊ごとに表紙にサブタイトルが掲げてあり、編集の趣旨がわかりやすいという点が印象的でした。日本文教出版については、糠平湖のアイスバブルや、アイヌの織物模様など、親近感も感じたところです。子どもの写真ですがけれども、マスクありかなしかで少し判断が分かれるのではないかと思います。ふうに思いますが、日本文教出版はありのままの掲載でした。また、二次元コードからの参考作品も多かった印象を持っております。そういった観点から、私は日本文教出版をしたいと思っております。

ただいま、各委員の発言を伺っておりますと日本文教出版というご意見が多いと思われませんが、佐々木委員が開隆堂出版ということですのでけれども、佐々木委員は他の委員のご意見を聞いて何か感じたところはありますか。

佐々木委員

はい、とても迷いました。先ほども申し上げた通り、日本文教出版はインパクトの強い美しい作品をたくさん掲載していて、構成もとても良いと思いますので、日本文教出版にするとということであれば、異存はありません。

広瀬教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、図画工作の採択すべき教科書は日本文教出版株式会社というご意見で、一致しました。日本文教出版株式会社を採択することでご異議ございませんか。

各委員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

図画工作の採択につきましては、『教科書の使い方に関する工夫や学習の進め方が示されており、教材の導入部が設けられ、また、全ての題材および1年の締めくくりで「振り返り」が設定され、児童が主体的に学習に取り組める配慮がされていること。表現と鑑賞を関連させて学びを深められるよう「表現のヒント」「鑑賞のヒント」が示されるなどの工夫がなされていること。言語活動の充実として、発想や構想、鑑賞など様々な場面で児童がコミュニケーションをとりながら造形活動を行う様子を紹介するなど、伝え合う活動・表現する活動が充実されていること。児童の表情がわかる写真が掲載されたり、また、名作と児童の作品を同一に並べたりするなど、芸術を身近に体感できる配慮がされていること。アイヌ等の地元教材が掲載されているなど、親近感が持てる教材構成になっていること。用具の基本的な扱い方と安全性への配慮や、作品の鑑賞、図工体操等に二次元コードを活用して動画で確認できるなど、1人1台端末を効果的に活用することができるように工夫されていること。』などの理由により、発行者、日本文教出版株式会社を採択することによろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に家庭の審議を行います。

家庭につきましては、2種から採択を行います。

それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は開隆堂出版を選ばせていただきました。理由としまして、巻頭ガイダンスでは、誕生から中学生までの時間軸の広がり、家庭・地域・社会へと広がる空間軸を表して2年間の学習の見通しをもち、2年間のまとめとして「中学校につなげよう」が掲載されておりました。児童が学習しやすい工夫がされていると思えました。各題材は「学習のめあて」で始まり、3つのステップの題材設定「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」を基本として、調理・制作の実習手順は横流れで示してありまして、流れをつかみやすくなっていると思えました。「見てわかる」を大切にする巻末資料は見開きが大きく、利き手ごとや食品の実物大の写真が掲載されていてとても分かりやすかったです。課題解決の手掛かりとなる例示や写真・図表・イラストなど過不足なく適切に掲載されており、児童が学習しやすくなっていると思えました。家庭科での安全、防災について基本的事項が学習過程で随所に示されているとともに、巻末のページに設定してまとめられているので、分かりやすくなっている

るように感じました。様々な分野から幅広いキャリアをもった人物を紹介し、児童に向けたメッセージが掲載されていまして、いろいろな職業があること、仕事のやりがいを知るだけでなく、私たちの生活がいろいろな仕事によって支えられていることに児童が気付けるようになってきている点が良いと思いました。和食、郷土食等、伝統的な食文化、ふろしきや風鈴等の生活文化が多数示されておりまして、北海道に関わる内容として「ちゃんちゃん焼き」「いももち」など、4か所取り上げられており、児童が興味を持ち学習の意欲が増すのではないかと思われました。二次元コードから読み取る学習コンテンツが全体的に配置されておりまして、動画や学習コードなど学習に有用なコンテンツが豊富にそろっており、児童が利用することで学習の習得や習熟度が増すと思われました。東京書籍は、料理の写真が綺麗で、「朝食から健康な一日の生活」と題して、朝食の役割を考えるとところが食育につながっていて大変良かったのですが、学習が進めやすいのは開隆堂出版のほうかと思いましたが開隆堂出版を推薦したいと思います。

広瀬教育長
柳川委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

候補となった東京書籍、開隆堂出版ともに内容はそれぞれ工夫が見られまして、私としては非常に甲乙つけ難いと思いました。そこで、どちらかを選ぶうえで、わかりやすさや、とっ付きのよさ、他の教科との連携などの視点で見させていただきました。東京書籍のほうは、若干、字が多い印象、つまり説明が多い印象を持ちました。それに対して開隆堂出版は、絵や写真を用いてビジュアルで説明している部分が多いと感じました。例えば、調理などの手順を開隆堂出版では横流れの図で示しておりまして、これは非常に使いやすい、見やすい工夫をしているというふうに見て取れました。「見てわかる」を大切にしている巻末資料という、東京書籍でもありましたけれど左右両利きで物を扱うときの配置でありますとか、食料に対する資料が非常に充実しておりまして、これも良い内容であると思いました。また、安全と衛生面に対する配慮も十分なされておりまして、結論として、開隆堂出版の教科書のほうがビジュアル面を強調しており、使いやすい教科書であると感じましたので、開隆堂出版を推薦したいと思います。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も開隆堂出版を推薦したいと思います。まず、内容面ですが、最も目を引いたのが消費生活のところですか。かなりページを割いて詳しく扱っています。特に売買契約の仕組みと、そこからこのような義務が生じますということを明確に記載しているところがとても評価できます。児童でも陥りやすい消費者トラブルについても、2つの事例を挙げて具体的な解決のヒントを示しています。それに加

えて、消費者センターの相談員へのインタビューも掲載しており、児童への注意喚起と正しい理解を促しているところが非常に評価できました。数年後には成人する児童たちですから、自分の行動から法的な義務が生じるということを小学校の段階から教えるというのはとても大事なことだと思います。ここが開隆堂出版の最も評価すべき点と言いますか、私にとっては一番目を引いた良い点だと思います。次に構成についてですが、教科書の冒頭で、毎日の生活を見渡して、それを支える家庭の仕事を見つけることから学習を始めるようになっていて、これもとても良いと思いました。生活を振り返る4つの視点と課題解決のステップを示して、自ら考え、行動し、活動を継続することを促している点も良いと思います。次に使用上の配慮ですけれども、学んだことを実生活でどう生かすかを主体的に考えてページに書き込む仕様になっています。おそらく、そのためだと思いますが、鉛筆で書き込みやすい質感の紙が使われていて、そのような活動を重視していることが見て取れました。理科などの他教科とのつながりも意識された作りになっていて、科目横断的な学習が可能になっています。「豆知識」のコーナーでは、より詳細な情報が得られるようになっていて、発展的な学習も意識された作りになっていると思います。最後に、SDGsのために自分に何ができるかということを経験科の学習と関連付けて考えさせている構成もとても良いと思いました。以上のような理由から開隆堂出版を推薦したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も、開隆堂出版を推薦したいと思います。2社、双方とも写真、イラスト等の表示に工夫があり、なかなか判断が難しいところがございました。まず、東京書籍の印象ですけれども、SDGsのページを起こして、これからの持続可能な社会に関しての考え方がしっかり整理されていたと思います。開隆堂出版は、ページは起こしていませんが、記載はそれぞれのところでありました。開隆堂出版は、写真と背景のコントラストがはっきりして見やすかったこと、ほぼ全ページに「豆知識」があり、分かりやすく、子どもたちも学習の意欲が高まるのではないかと思います。両社に共通する点として、左利きの場合の記載があり、多様性の時代に即したような作りになっている、そういった部分にもページを割いているところが評価できると感じました。結論として、全体の印象、それから継続性もあることから開隆堂出版を推薦したいと思います。

皆様のご意見を総合いたしますと、家庭の採択すべき教科書は、開隆堂出版株式会社というご意見で全員一致しております。

開隆堂出版株式会社を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

家庭の採択につきましては、『巻頭ガイダンスでは、誕生から中学生までの時間軸の広がり、家庭・地域・社会へと広がる空間軸を表して2年間の学習の見通しをもち、2年間のまとめとして「中学校につなげよう」が掲載されていることから、児童が家庭科を学ぶ意義を確認できるよう工夫されていること。児童が主体的に学習を進めることができるように、課題解決のための3ステップ「気づく・見つめる」「わかる・できる」「生かす・深める」や生活を振り返る4つの視点が示されており、課題解決の手掛かりとなる例示や写真・図表・イラストなどの記載も充実し、「使いやすさ」「分かりやすさ」「教えやすさ」の工夫が見られ、また、「豆知識」でより詳細な情報を得ることができること。和食、郷土食等、伝統的な食文化や、ふろしきや風鈴等の生活文化が多数示され、北海道に関わる内容も取り上げられていること。防災教育に関する特設ページを設けているほか、他教科の学習との連携や横断的な学びの工夫など、有機的につなぐための「関連リンク」や、SDGsのために自分に何ができるかを考えさせるページなど、家庭科を学んでいく上で大切な視点を意識できるように工夫されていること。児童が陥りやすい消費者トラブルについて、売買契約の仕組みと法的効果として、具体的な事例や解決のヒントを示すなど、消費者教育について正しい理解を促していけるように工夫されていること。二次元コードから読み取る学習コンテンツが配置されており、動画や学習コードなど、学習に有用なコンテンツが充実しているほか、「見てわかる」を大切にする巻末資料には、利き手ごとや食品の実物大の写真を扱っており、児童が安心して学ぶことができる工夫がされていること。』などの理由により、発行者、開隆堂出版株式会社を採択することによってよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に保健の審議を行います。

保健につきましては、6種から採択を行います。

それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は学研を選ばせていただきました。1項目が4ページで構成され、1ページ目に「学習の課題」「学習の進め方」が示されており、見通しをもって学習できるようになっているため、学習しやすい構成になっていると思いました。各単元の最後に、学習のまとめ「学

習の振り返り」「学習したことを伝える」「明日につなぐ」を記入するページを設けており、学習の習熟度を増す工夫がされていると思いました。各項目の最後に、学習を広めたり、深めたりするのに役立つ資料「ほけんのはこ」では、「熱中症の予防と手当て」「体の変化はどうして起こるの」などが掲載されており、児童の習熟度が深まると思いました。教科書の冒頭3ページを充て、保健の学習がSDGsと関係していることが示されていて学習が進めやすくなっていると感じました。イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツをもつ子どもなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色など固定的なイメージでの表現とならないように、配慮され作成されているのが良いと思いました。防犯、防災を重視し、学習内容と適切に関連させていることも良いと感じました。学習課題や本文では書体にUDデジタル教科書体を使用し、誰もが読みやすいように視認性を高めており見やすかったと感じました。二次元コードを掲載し、3・4年生が12個、5・6年生が24個のデジタルコンテンツを活用できるようになっていて、使用上の便宜が図られていると思いました。「かがくの目」で興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものを見える化」した資料が掲載されており大変興味深かったです。性についての心の多様性にふれているところも、他の教科書と比較してわかりやすく良かったと思います。以上のことから学研を推薦いたします。

広瀬教育長
柳川委員

ありがとうございます。柳川委員お願いします。

保健の教科書は、やはり新型コロナウイルスの蔓延や防災関係など新しい知見がいろいろと加わっておりますし、それらがどのように盛り込まれているかというところを、まずは視点として見させていただきました。まず感じたことは、各社でかなりページ数に差があるなと思いました。どこの部分に差があるのかなと思いましたら、主に、心の健康、けがの防止、病気の予防の3つの柱で書かれているうち、病気の予防の部分、特に学研の教科書で40ページと他社に比べて非常に多い分量となっております。内容も充実しております。予防医学という立場から、子どもの頃からある程度こういったことは気を付けておいたほうが良いという事柄が非常に豊富な内容で書かれております。まず、こういった部分で学研の教科書が良いなというふうに思いました。その分、少しページ数が増えて重くなってしまうのですが、やはりこの部分は大切なところだと思います。また、学研の教科書は最初に「学習課題」「学習の進め方」を示しており、見通しを持って学習できる工夫が全体的になされています。また、最後には「学習のまとめ」を記入するページがあり、各項目の最後に「ほけんのはこ」を置くなど、独自の工夫がなされておりました。内容面、それから主体的に学べる工夫という面で、私は学研の教科書を推薦したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も学研を推薦したいと思います。保健は話題も多岐にわたるので、なかなか選ぶ視点が絞り込み難かったのですが、思春期の心の変化を扱うところで、各社扱いの違いが出ているというふうに感じましたので、まず、そこを見ていたのですが、各社いろいろな扱い方をしているものの、性的マイノリティへの配慮をかなり重点的にしているところと、ふんわりとしか触れていないところ、まったく触れていないところというような違いが出ています。私から見て、一番厚く取り扱っているなど思ったのは東京書籍でした。性的マイノリティへの配慮が特に感じられるところとしては、体の性と心の性、そして好きになる性と表現したい性という4つの性のあり方が項目立てられて明記されております。これは、専門的にはSOGIEと呼ばれる性の捉え方になります。ここまで踏み込んで書いているのは東京書籍だけでした。それで東京書籍がとても良いなと思ひまして、最後まで学研と2つで絞り込んで迷いました。ここで、学研の扱い方について触れますが、学研もとても良いです。思春期の心の変化についての記載では、「異性のことが気になったり（中略）する人もいる」という表現を用いていて、必ず異性のことが気になりますという書き方はしていません。この点は、性的マイノリティの子どもたちにも配慮がなされていると感じました。さらに「性についての心の多様性」と題して、それについて比較的詳しく説明されており、相談窓口も複数紹介しているところが、児童の心に配慮し寄り添うような構成になっており、とても良いと思ひました。そのほかにも、学研に見るべきところがありましたので順にお話しします。まず内容面ですが、3・4年生の冒頭で、健康に暮らすことの意義を基本的なところから具体的に考えさせて学習に入っていくところが自然な導入でとても良いのではないかと思います。5・6年生では、心の健康に関する様々なトラブルや悩みの例を挙げ、それぞれにスクールカウンセラーの回答やアドバイスが掲載されていて具体的でとても良いと思ひます。相談窓口についても、全国や地域の窓口だけでなく、信頼できる身近な専門家、スクールカウンセラーや養護教諭など、いろいろなところに相談できる、助けを求められる場所があることを紹介しているのも具体的で良いと思ひます。体の健康に関しては、ケガや熱中症対策、応急処置、AEDなどの救命方法が詳しく掲載されているところも良いと思ひます。喫煙や飲酒を勧められたときの断り方が具体的に示されており、こちらも独自の取り組みで良いと思ひますし、実践できるようロールプレイングによる練習が提案されているのも良いと思ひます。そして、成長について悩む友人に何と声をかけるべきか自分で考えて書き込むページもあり、具体的に問題に取り組む姿勢を養う工夫が随所に見られ、とても良い工夫だと思います。それだけでなく、話し合いによる学習も重視しており、各課題について話し合い、その内容を書き込み、発表するという流れが繰り返されています。そのため、他

社に比べて書き込みスペースがかなり多いのが特徴だと思います。また、小单元ごとに、冒頭で学習の進め方がわかりやすい図で示されており、見通しを持って学習に取り組めるようになってきているというのも良い工夫だと思います。さらに、ふり返りのページでは、チェック項目だけでなく、ここでもまた具体的に自分で考えて書き込む欄があるというところで、取り組みが徹底されていると感じました。感染症については、H I Vについて詳しく解説されており、この病気に関する誤解や偏見を生まないよう、かなり配慮されているのではないかと感じました。以上のように、良い取り組みが多く見受けられましたので私も学研を推薦したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も学研を推薦したいと思います。各社の印象ですけれども、まず、東京書籍につきましても、1項目が4ページから6ページでキャラクターが多様性に富んでいたこと、二次元コードが他社に比べて最も多かったです。大日本図書ですが、1項目が2ページから4ページで非常にコンパクトな印象を受けました。大修館書店ですが、1項目が2ページから4ページでこちらも非常にコンパクトな印象で、3・4年生の25ページに高木美帆選手が掲載されており身近に感じる素材を扱ってくれているなど感じています。文教社ですが、1項目が2ページから6ページと幅広い印象です。最も本の重さが重かったです。イラストや写真が豊富で見やすい感じがあり、〇〇宣言を記入する欄も設けられておりました。光文書院ですが、重さが一番軽い教科書でした。基本的にはイラストで構成され、表紙の次の見開きにスポーツ選手のメッセージがございました。学研ですが、1項目が4ページで、見通しを持って進められるコンパクトな印象がございました。それから、病気の予防に非常に配慮されていること、皆さん仰っていましたが、単元の最後にまとめる意味で振り返り、伝える、つなぐといった項目が掲載されていること、性的マイノリティについてもそうですけれども、一番子どもたちに教えて欲しい教科書であったとおもいます。以上のことから学研を推薦したいと思います。

皆さんのご意見を総合いたしますと、保健の採択すべき教科書は、株式会社 Gakken というご意見で全員一致しております。

株式会社 Gakken を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

保健の採択につきましても、『1項目が4ページ構成となっており、1ページ目に「学習課題」「学習の進め方(3段階)」が示され

各 委 員
広瀬教育長

るなど、児童が見通しを持って学習ができるようになっている。また、話し合いによる学習を重視し、課題について話し合い、その内容を書き込み、発表するなど、主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫がされていること。単元の最後に、学習のまとめを記入するページが設けられており、学習したことを活用することが出来るようになっているとともに、資料「ほけんのはこ」で学びを深める工夫がされていること。思春期の心の変化については、「異性のことが気になったり（中略）する人もいる」という表現を用いるなど、性的マイノリティへの配慮がなされている。また、「性についての心の多様性」について詳しく説明されており、相談窓口も複数紹介されていること。5・6年生において、心の健康に関する様々なトラブルや悩みの事例を扱い、相談窓口についても、全国や地域の窓口だけでなく、身近な専門家やスクールカウンセラーなども紹介するなどの配慮がなされていること。イラストや図は、男女の性、外国にルーツもつ子どものなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色など固定的なイメージでの表現とならないように配慮し、作成されていること。成長について悩む友人に何と声をかけるべきか考えさせたり、「喫煙や飲酒をすすめられたときの断り方」がロールプレイングの演習を通して具体的に示されるとともに、病気の予防に取り組む実践的な工夫が見られること。二次元コードを掲載し、様々なデジタルコンテンツを活用できるなど、使用上の便宜が図られていること。』などの理由により、発行者、株式会社 Gakken を採択することによろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に英語の審議を行います。

英語につきましては、6種から採択を行います。

それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私は東京書籍を選ばせていただきました。理由といたしまして、5年生では「日本とつながるわたしたち」、6年生では「世界とつながるわたしたち」をテーマに、学年を通じた見通しを持って4技能5領域、「聞くこと」「読むこと」「話すこと、やり取り・発表」「書くこと」をバランスよく育成する工夫がされていました。6年生では、読める、書ける、中学校へ接続する読み書き指導として、中学校への円滑な接続のための読み書き指導のページが各単元末に設定されていました。4技能5領域とSDGsの対応、中学校への接続を踏まえた内容で大変良いと思いました。5年生の日本探検において、日本の伝統文化としてアイヌ文化の題材が掲載されていて、児童が興味を覚えて学習意欲が増すのではないかと思います。2年間使用する「My Picture Dictionary」に、デジタルコンテンツである「Digital Dictionary」では掲載されたすべての単語の音声を

聴くことができ、紙面の単語に加えたプラス単語も多数収録しまして、児童が言いたい単語を探ことができ、辞書やインターネットで調べて見つけた単語を「マイ単語」に書き込むこともでき、児童にとって大変有用ものだと感じました。教科書に掲載された二次元コードを通じて閲覧できる5・6年生合わせて650以上のデジタルコンテンツが、児童の習熟度や興味・関心に応じた個別最適な英語の学びをサポートし、家庭学習にも対応して学びなおしにも役立つことから、児童が自分のペースで学習できるところが良いと思いました。また、デジタルコンテンツの多さには驚きました。多様性にも配慮して、さまざまな国や人種の人物が登場し、車いすの児童など障害の有無に関わらず、尊重し合って楽しく活動するイメージを持たせられるような紙面、イラストや写真、映像が取り入れられているのも人権教育的な面で良かったと思います。多文化共生として、5、6年生で計43か国を取り上げたほか、さまざまな人種の児童をイラストや写真、動画で取り上げることは、児童の多文化共生の意識の育成につながると思いました。全体を通しまして、4技能5領域をコンセプトとし、デジタルコンテンツの充実により児童が楽しく学べる教科書であることと、継続性も加味して東京書籍を推薦したいと思います。

また、選択とは別に仕様が良かったと感じたのは、光村図書でした。「Picture Dictionary」が、教科書本体から取り外しができるといのは、大変便利だなという印象を受けました。以上です。

広瀬教育長
柳川委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

英語の教科書ですけれども、算数の教科書の時にも申し上げましたが、まずは小学生に英語あるいは他国の言語に対する拒絶反応を起こさせないような作りが大切かなと思いました。英語嫌いにならないような取り組みが必要と感じておりまして、そういう視点で見させていただきました。また、小学校では辞書を使わないとお聞きしましたので、単語機能がある程度充実しており、それが使いやすいなどの工夫があるものが良いと思いました。そういった面では、東京書籍、三省堂、光村図書の教科書が単語機能の充実が感じられました。もう1つ大切なのは、本格的に英語学習が始まる中学校の教科書との連携もやはり重要であるというふうに感じました。これらの点を加味すると、東京書籍という選択肢になるのですが、内容を含めて見ても、東京書籍の内容は5年生の時は英語の教科書というよりも他民族との融和に配慮した内容になっており、また6年生になるとかなり高度な内容が入ってきますけれども、英語が嫌いにならないよう色々な配慮、取り組みがなされていると感じました。以上の理由から、東京書籍を推薦いたします。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も東京書籍を推薦します。6社それぞれに独自の取り組みがあ

って、良いものばかりでしたが、最終的に東京書籍と啓林館の2社に絞って考えました。啓林館の良いところは、特にコミュニケーション能力の育成に力を入れているところが見て取れて、そのための実践的な工夫が見受けられたところです。冒頭の「コミュニケーションに大切なこと」という部分で、話すリズムやイントネーション、速さ、さらに相槌の打ち方なども詳しく書かれていて、日常会話の幅が広がるように工夫されています。読んでいて、本当に英語を話す人と出会った時に、たとえまだ上手くしゃべれなくても、会話を続ける、とにかく楽しくコミュニケーションを続けられるようになるのではないかと思います。とても良い工夫だと思いました。同じような視点から、東京書籍もその点には非常に力を入れていまして、対話の練習がとても多く、コミュニケーションを続けるための工夫だけでなく東京書籍は聞き取りの能力を非常に重視しているところが良いと思います。単語が聴き取れる工夫ですね。具体的には、5年生では「終わりの音」と題して音に慣れさせるコーナーがあります。また、6年生では「はじめの音」で、単語の最初の子音の音に耳を慣らして聞き取り能力をのぼすことが目指されていて、これは東京書籍独自の工夫だと思いました。コミュニケーションに関してですが、「My Picture Dictionary」の冒頭では、円滑なコミュニケーションをはかるための表現、言い回し、工夫、さらに気遣いなどのポイントが詳しく記載されていて、単語の練習だけでなく、そういった能力の育成にも力を入れていることが見て取れました。また、「My Picture Dictionary」に関しては、5、6年生で学習した主な表現のまとめ、索引などもとても使いやすい仕様となっていると思います。その他の内容についてですが、6年生では、日本と世界との関わりの歴史をふり返るコーナーがありまして、自分と世界との関わりをもっと深く実感できるように工夫されていると思いました。SDGsに関しては、生き物が直面するゴミや温暖化の問題が厚く取り扱われていて、とても良いと思いました。最後に二次元コードに関してですが、藤澤委員も仰っていたようにデジタル教材も豊富です。「My Picture Dictionary」では、デジタル教材と併用して、発音とともに覚えられるようになっていくところがとても学習しやすいのではないかと思います。最後に、全体を通してですが、先ほどコミュニケーションのお話もしましたが、自分を表現して相手を知り、自分や相手の暮らしや文化を知ることに関心が深くなっているところが良いと思います。それだけではなく、書き込み欄も多く、書く能力の養成にもきちんと力を入れているところがバランスも取れていてとても良いと思います。以上の理由から、東京書籍を推薦したいと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も東京書籍を推薦したいと思います。軽量で、構成が見やすく、統一感がありシンプルでわかりやすい。子どもたちが書き込むスペースも十分あり、教師が柔軟なカリキュ

ラムを作成できる工夫も見られました。二次元コードや、別冊の2年間使用する「My Picture Dictionary」の内容も充実していると感じました。中学校も同じ教科書のため連動性もあるのかなと思っております。柳川委員も仰っておられましたが、小学校英語の役割として、親しみを持つ観点が一番大切かなと感じておりました。その点では東京書籍が最も適していると思ったところです。その他の教科書についてですが、開隆堂出版は文字が大きくて見やすく紙質にも工夫がありました。日常生活と関連付け、親しみながら表現したくなる工夫、今日的な課題や他教科との関連性にも配慮されていると感じました。別冊の単語リストと合わせると重量は最も重かったかと思えます。三省堂は、見開き一面のイラストに各レッスンのテーマがわかりやすくまとめられていて、その後の学習活動への接続に配慮されていると感じました。内容的には、やや難しい感もありました。別冊の「My Dictionary」はコンパクトにまとまっておりますが、教科書とのサイズの不一致が気になりました。教育出版は、北海道と関わりのある題材が一番多く、親しみやすい教科書でした。登場する人物の多様性にも配慮され、重量も最も軽量でしたが、単語リストには余白がなく少し窮屈だと感じました。光村図書ですが、「Picture Dictionary」の取り外しができる工夫、言語を学ぶ上で大切な姿勢が明記されていること、主体的な表現を促す問いかけがあったのが印象的でした。啓林館は、巻末に単語リスト、単語カードを書き込むスペースが十分にあり、充実しておりました。今日的な課題や他教科との関連に配慮もされていたと感じます。各社それぞれに工夫が凝らされた特色ある教材でしたが、結論としては、使い易さ、バランス、それから授業の展開への配慮から東京書籍を推薦したいと思えます。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと、英語の採択すべき教科書は、東京書籍株式会社というご意見で全員一致しております。

東京書籍株式会社を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

英語の採択につきましては、『自分を表現し、相手を知り、自分や相手の暮らしや文化を知ること』に重点がおかれていることや、書き込み欄が多く、書く能力の育成にも力を入れていること。5年生では「日本とつながるわたしたち」、6年生では「世界とつながるわたしたち」をテーマに、学年を通じた見通しをもち、英語嫌いを生ま

各 委 員
広瀬教育長

ないように4技能5領域「聞くこと」「読むこと」「話すこと、やり取り・発表」「書くこと」をバランスよく配置する工夫がされていること。多文化共生として、5・6年生で計43か国を取り上げたほか、さまざまな人種の児童を動画で取り上げることで、多文化共生の意識を育成していること。教科書に掲載された二次元コードを通じて閲覧できる5・6年生合わせて650以上の教材が児童の習熟度や興味・関心に応じた個別最適な英語の学びのサポートが充実しており、児童の学習意欲を引き出す工夫がされていること。コミュニケーション・聞き取りを重視しており、対話の練習が多く設定されているとともに、「My Picture Dictionary」では、円滑なコミュニケーションをはかるための表現、言い回し、工夫、気遣いなどのポイントが記載されていたり、5・6年生で学習した主な表現のまとめ、索引なども使いやすい仕様となっていること。単語機能の充実とともに、中学校教科書との連携が図られていること。』などの理由により、発行者、東京書籍株式会社を採択することでよろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に道徳の審議を行います。

道徳につきましては、6種から採択を行います。

それでは、藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

結論から申しますと、東京書籍を推薦します。

理由としまして、安心・安全、情報モラル、生命尊重、自己肯定感の課題について、全学年にユニットを設けて児童が課題を認識し、学習しやすくなっていると思われました。いじめの防止を全学年で「ユニット」として重点的に取り上げ、2つの教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせて、いじめの防止の効果が高められるよう工夫されていると思われました。幼児期の教育とつながる「どうとくスタート」が1年生の教科書で新設されていまして、絵や写真を中心とした教材で、児童が主体的に自己を発揮しながら道徳科の学習が始められるようになっているのが良かったと思われました。巻頭の「どんな学びをするのかな？」では気づきから始まって、考える、広げる・深めるで児童が主体的に考え議論する道徳を実現することが期待されると思われました。北海道の題材として、5年生で旭山動物園の坂東園長、雪の人口結晶研究の北海道大学の中谷宇吉郎博士の教材の掲載は、児童が興味を持つと思われました。全学年に複数のコラム記事が掲載されていまして、他の学習や生活につなげたり、広げたりで児童の考えが深まるようになっていまして。二次元コードを掲載し、すべての教材にデジタルコンテンツが用意されており、個別最適な学びが支援され、協働的な学びが広がることが期待されます。1時間の学習で考えることがひと目でわかり、柔軟に活用できる、シンプルな教材構成になっていることから、児童も先生も学習

が進めやすいと考えられます。巻末の「かんがえるためのツール」では、児童が自分の心の中を見つめるためのツールが掲載されていて、自分の考えと友達の考えを比べることができて、自己肯定感を見いだすのに重要と思われました。以上のことから、「心の力持ちになろう！」という、自分を見つめ、他人を思い、社会と関わり、生命や自然を尊ぶことができる心の力を育むというコンセプトの東京書籍を推薦したいと思います。

広瀬教育長
柳川委員

ありがとうございます。柳川委員、お願いします。

道徳の教科書6社ありましたけれども、考えを押し付けない方向で進めている教科書が良いのかなと思いました。内容につきましては、生命の尊厳、自然について、伝統と文化、情報化への対応、と各社独自のテーマをもって述べられておりまして、それぞれ工夫が見られて遜色はないのですが、例えば、私の専門であります自然についての分野を読ませていただくと、理科の教科書との差別化、これは道徳の教科書の中での自然観であるということ配慮したうえで執筆ができているというのは、東京書籍、光文書院、学研について強く感じました。最終的には、自分の考えを可視化するためのツールの設置などが、東京書籍の教科書で、工夫がやや他社に先んじていると感じられましたので、私は東京書籍を道徳の教科書として推薦したいと思います。

広瀬教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員、お願いします。

私も東京書籍を推薦いたします。各社独自の取り組みもあり、いずれも良かったのですが、最終的には学研と東京書籍の2社に絞って検討しました。東京書籍と学研の共通した良いところというのは、先ほど柳川委員も触れていましたけれども、できるだけ考えの押し付けにならないような配慮がなされているかどうかという点です。学研は、その点、例えば「金の斧 銀の斧」の教材で、銀の斧が出てきたところでお話が終わっているという、独自の取り上げ方をしている、「金の斧 銀の斧」は、結構いろいろなところで取り上げているのですが、大体、もう1人の木こりが最後に金の斧を選ぶと神様がどこかへ行ってしまうというという所までは必ず載っているのですが、学研は銀の斧が出てきたところで「さて、どうなるでしょう」という終わり方をしているところに少し驚いたのですが、続きを児童に託しているところなんですね。他の教材でも、お話の途中で登場人物のセリフが空欄の吹き出しになっていて、児童に、あなたならどう声をかけるかな、というふうに考えさせていて、非常に自主的な学び、考えを尊重しているところが良いと思いました。

教材の取り上げ方ですが、日本初の女性医師である荻野吟子氏ですとか、個人的に目を引いたのは、数年前に亡くなったアメリカの連邦最高裁判事であるルース・ベイダー・ギンズバーグ氏、ジェンダーの問題や人種も含めて少数者の人権に取り組んだ法律家ですけ

れども、彼女を取り上げていて、ジェンダーだけでなく、多様性の尊重とともに人権問題にとっても厚い作りになっているところがとても見るべきところがあると感じました。

最終的には東京書籍を選んだのですが、その理由を述べます。まず、導入部分から、より良い生活を送るために必要なことを考えさせて道徳を学ぶ意義を自然に感じさせる作りになっています。先ほども触れた、押し付けにならないような工夫が導入部分からされているということです。そして、自分で気付くことに東京書籍も重点を置いていて、問いかけ自体は比較的少なめであり、その内容も誘導的にならないよう配慮されています。気付く、考える、広げる・深める、といった学習の流れがわかりやすく示されており、自分で気付こうねという主体的な学びが図られています。構成の面では、各主題が大きく1ページの扉に書かれていて、次はこのテーマについて勉強するよという、気持ちの切り替えがしやすい工夫が良いと思います。生活科など、他教科とのつながりも意識された構成になっているところも良いと思います。いじめ問題については、嫌なことをされた側の対処法も示されていて、「いやだなあ」という自分の気持ちを大切に、というコラムがあり、この内容が当事者の心にも響く良いコラムになっていると思います。相談の回答者になってみるコーナーというのもあり、これも、相手の立場に立ち、主体的に考えて言葉をかける活動ができるようになってきているのがとても良いと思います。人権問題については、さらに子どもの権利条約や世界人権宣言が掲載されており、抽象的な話だけでなく、守られるべき自分の権利や他者の権利を具体的に学べる内容になっているところが実戦的でとても良いと思います。人権以外の話では、情報モラルに関するところでも良い取り組みがされておりまして、「ちよさくけんクイズ」というコーナーでクイズを通して著作権について具体的に学習できるようになっています。SDGsに関しては、まずSDGsの何たるかが詳しく説明されていて、これからSDGsに関する様々な学習を深める土台になっているところがとても良いと思います。6年生では、SNSなどに関する話題にもなっているのですが、エコーチェンバーの説明といのがあります。コミュニケーションなどを通して差別が生まれる仕組みや流れについて詳しく踏み込んだ記載があります。これは、今のSNSを活用する子どもたちにとっても、非常に具体的で実際に役に立つ記載になっていると思います。以上のようなことから、考えを押し付けることなく、自主的に子どもたちに人権や差別などの様々な社会問題について自ら考える力を養うところに重点が置かれている東京書籍が良いのではないかと思います。

広瀬教育長

ありがとうございます。私も東京書籍を推薦したいと思います。各社とも様々な題材によって主体的に取り組む工夫がされていると

感じたところでは、東京書籍ですけれども、導入部の見やすさ、巻末の教材一覧の工夫、考えるためのツールの配置は斬新だったと思います。教育出版は、導入部の充実、タブレットの使い方、それから学びのリンクをタイトル下に設け使いやすさの工夫がされていました。巻末に学習の振り返りによる成長の確認もできるようになっております。光村図書ですけれども、タイトル下にキーワードで何を学習するのかがわかる学習テーマが記載されています。また、キャラクターの「こころん」などが登場し学習の手助けをしているところが印象的でした。日本文教出版は、道徳ノートが唯一別冊になっておりました。「心のベンチ」では多角的・多面的見方により、発展的な学習ができる構成になっていますが、重さが一番重く、気になりました。光文書院ですが、巻頭の導入が詳細であり、巻末には相田みつをの詩を全学年で掲載しています。また、巻末の「学びの足跡」により学習状況の確かめができます。学研は、タイトル下にキーワード「考える・深める・心のパスポート」、デジタルコンテンツの目次などが掲載されていることが印象的でした。児童が主体的に学べる工夫の面で、東京書籍が最も優れていると感じたところであり、そういった理由から東京書籍を推薦したいと思っております。

皆様のご意見を総合いたしますと、道徳の採択すべき教科書は、東京書籍株式会社というご意見で全員一致しております。

東京書籍株式会社を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

道徳の採択につきましては、『1年生では、具体的な活動や、他教科等との関連を図った学習を通して、児童が道徳科の学習の楽しさと出会う「どうとくスタート」が新設され、幼児教育で育まれた道徳性を生かし、円滑な幼保小連携を図るための工夫がされていること。巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、言語活動を含めた学習の流れがわかりやすく示され、児童が主体的に「考え、議論する道徳」を実現できるようになっており、「気づく」、「考える」、「広げる・深める」といった学びの工夫がされていること。「いじめ問題」については、全学年で「ユニット」として重点的に取り上げ、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材、いじめに関するコラム「つながる・広がる」を組み合わせ取り上げ、児童が多角的に考えを深め、いじめの防止の効果が高められるようになっていること。自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方

各 委 員
広瀬教育長

があることに気付くことができる「考えるためのツール」を巻末に配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるよう工夫されていること。生活科など他教科等の学習活動や地域や家庭での活動との関連を図った教材や、コラム「つながる、広がる」を有機的に組み合わせ、情報モラル、SDGs、子どもの権利条約等、社会問題や人権・差別に関わる内容の教材化により、教育活動全体で現代的課題に向き合う構成となっていること。』などの理由により、発行者、東京書籍株式会社を採択することによろしいでしょうか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に特別支援学級の審議を行います。

特別支援学級の教科用図書につきましては、事務局の説明にあつたとおり、これまで知的障害学級における特別の教育課程に対応するため、特別支援学校用、小・中学部教書目録に唯一搭載されている文部科学省著作の教科用図書を使用してきたところであります。

ここでお諮りいたします。

特別支援学級の採択につきましては、文部科学省著作の教科用図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

本件に関し、他に意見はありますか。

各 委 員
広瀬教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第 26 号、小学校用教科用図書の採択については、各種目についてこれまで決定した発行者名及び教科書番号に修正のうえ、決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第 26 号は、決定されました。

以上で議案第 26 号、小学校用教科用図書の採択についての審議はすべて終了いたしました。

日程第 5、報告第 21 号、教科用図書の採択に係る情報の公表についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

報告第 21 号、教科用図書の採択に係る情報の公表につきまして、ご説明いたします。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律において、教科書を採択したときは、採択結果及び理由等を公表するよう努めることとされております。このことから、今年度の小学校用教科用

広瀬教育長
各 委 員
広瀬教育長

図書の採択に係る情報の公表につきましては、採択した教科書発行者名、採択理由、本日の教育委員会会議の会議録、教科用図書選定委員会からの答申書及び調査研究資料を、速やかに、ホームページで公表するものであります。また、このうち、採択した教科書発行者名につきましては、本日の教育委員会会議終了後、準備が整い次第、報道機関へ通知するものであります。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

ここで私から一言ご挨拶を申し上げます。令和6年度から使用いたします教科用図書につきまして、6月の選定委員の委嘱から始まり、約2ヵ月間をかけ、本日の教育委員会会議におきまして採択されたところであります。委員の皆様にはこの間、連日にわたり調査・研究を行っていただき、また、昨日、本日で2日間にわたり採択の審議を慎重かつ適正に進めていただき、大変ご苦労さまでした。帯広市の将来を担う子どもたちのために、より適した教科書の採択に最後までご尽力いただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

これをもちまして、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で令和5年第13回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。